

令和6年度使用

小学校用教科用図書の 選定に必要な資料

松江採択地区教科用図書採択協議会

各発行者記号は以下のとおりである。

記号	発行者名	記号	発行者名
A	東京書籍	I	光村図書出版
B	大日本図書	J	帝国書院
C	開隆堂出版	K	新興出版社啓林館
D	学校図書	L	日本文教出版
E	三省堂	M	文教社
F	教育出版	N	光文書院
G	信州教育出版社	O	Gakken
H	教育芸術社	P	大修館書店

選定に必要な資料の観点と規準

(1) 記述された内容、程度が、児童の発達段階に適合しているか。また、分量が適切であるか。

- ・ 基礎的・基本的な内容の定着を図る工夫がなされているか。
- ・ 児童の思考力、判断力、表現力を引き出す工夫がなされているか。
- ・ 多様な児童の学習状況に対応する工夫がなされているか。 など

(2) 取り上げられた教材の選択や構成は、学習を効果的に進めるために適切なものになっているか。

- ・ 内容の系統性に配慮した単元の配列などの工夫がなされているか。
- ・ 自ら調べ、まとめるなどの問題解決的な学習につながる工夫がなされているか。 など

(3) 児童が興味・関心をもって学習できるように工夫されているか。

- ・ 自ら課題を見つけ、学習を継続的、発展的に進めていくための工夫がなされているか。
- ・ 意欲を喚起するために、写真や図表などの資料、レイアウトなどの工夫がなされているか。 など

(4) 各教科の特性が活かされ、島根県の実態や課題に適合しているか。

- ・ 松江や安来の地域の実態に合うような教材を生かし、様々な体験や活動を通して考える学習への工夫がなされているか。
- ・ 今日的な課題を追求する学習につながる工夫がなされているか。 など

(5) 各教科等における資質・能力との関連や、実生活へ生かせる工夫が盛り込まれているか。

(6) その他

- ・ 観点(1)～(5)にあてはまらない内容やその他特筆すべき事項。

○ 総括

- ・ 観点(1)～(5)及びその他についての記述や感性を育む要素などを総合したその教科用図書の全体的な特徴。

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 国語)

No.1

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点						総 括
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性, 島根県の 実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との 関連についての工夫	(6) その他	
A 東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・助詞の学習が「が」→「は」→「を・へ」と段階的に学んだり、リズムにのったり、体を動かしたりして学んだりできる点が優れている。(1年上) ・ローマ字の学習が3・4年を通してスモールステップで学んだり、デジタルコンテンツで練習ができたりするよう工夫されている。(3・4年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読む」→「情報のとびら」→「書く」という単元構成になっており、情報活用能力を育成する点で工夫されている。(2年以上) ・単元を通して身に着ける資質・能力を「言葉の力」として明記しており、児童にとってゴールがわかりやすい点で優れている。(全学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・問いのページをめくると答えがわかったり、写真や絵が大きく載っていたりと児童の興味をひくレイアウトになるよう工夫されている。(1年) ・物語や説明文の導入のページが見開きで大きく鮮明な写真や絵が掲載されており、興味関心を高められる点が優れている。(全学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「言葉相談室」では立ち止まって言葉について考え、言葉に対する見方・考え方を高めるための工夫がされている。(全学年) ・各学年に音読・朗読の教材があり、表現力の育成を図ることができるよう工夫されている。(全学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の課題に関心をもったり、「未来を生きる君へ」では様々な分野の著名人が学年に応じたテーマで児童へのメッセージを書いており、自分を見つめるきっかけとなったりするよう工夫されている。(2年以上) ・各単元の終わりの「生かそう」では、実生活に合った場面が紹介されており、学びがつながるよう工夫されている。(全学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルコンテンツが充実しており、自主的な学習の支援となったり、児童の興味を引いたりするよう工夫されている点で優れている。(全学年) ・「漢字を使おう」では、イラスト上にある様々な漢字表記の言葉を使って文章を作るようになっており、意味理解しながら文章の中で使えるようになるよう工夫されている。(2年以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科で育む資質・能力を「言葉の力」として明記し、導入部分を見開きで提示することで児童の興味関心を引き、学ぶ意欲を高めながら学習ができる点で優れている。 ・600以上のデジタルコンテンツがあり、学校での学習だけでなく、家庭学習など児童が自主的に学習を進めることができるよう工夫されている。
F 教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ・付録の内容が充実しており、様々な場面で活用できるよう工夫されている。(全学年) ・全学年で上下2巻を採用することで軽量化されている点で工夫されている。(全学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭にその学年で学ぶことが領域ごとにまとめて書いてあり、見直しをもって学べるよう工夫されている。また、SDGsに関連する教材にはマークがありわかりやすいよう工夫されている。(全学年) ・拗音の学習の後に拗音を使った短文や詩があり、学びが定着するよう工夫されている。(1年上) 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真から想像を広げて表現をする単元があり、児童が楽しみながら言葉を用いて表現できるよう工夫されている。(全学年) ・「読書の広場」では児童の読書を広げたり、深めたりできるよう工夫されている。(全学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニディベート、パネルディスカッション、対話など各学年に応じて他者との伝えあいについて学ぶことができるよう工夫されている。(全学年) ・SDGs, AIなどに関連した教材があり、社会課題について考えるきっかけとなるよう工夫されている。(3年以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の学習に生かすことができるよう工夫されている。(4年上理科との関連)(1年下カレンダー) ・「言葉の文化」では昔ながらの言葉や言葉遊びが多く掲載されている点で工夫されている。(全学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「漢字学習ノート」では、漢字の学び方が細かく紹介されており、自主的な学びができるよう工夫されている。(3年以上) ・実際に触ってわかる点字が掲載されている点で工夫されている。(4年下) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「原稿用紙の書き方」「電話のかけ方」「読み直しの仕方」など「文型・語型」や「学習用語」の付録が充実しており、他の学習場面でも生かせるよう工夫されている。 ・各教科の学習に直結する単元があり、他教科に生かしやすいよう工夫されている。
I 光村図書出版	<ul style="list-style-type: none"> ・「ことばの準備運動」は、言葉の学習だけでなく、学年の始まりの時期に仲間づくりにもつながる内容で工夫されている。(全学年) ・「選んで読み比べよう」では、選択課題を設け、それぞれの興味に沿って学習を進められるよう工夫されている。(2年以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭では、1年間の学びのめあてを考え、巻末では「たいせつ」のまとめや1年間のふりかえりがあり、学びの成果を実感できるよう工夫されている。(全学年) ・説明文の教材では、「練習」として短い文章で読みの視点を学び、段階的に学べるよう工夫されている。(3年以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「問いをもとう」では一読後の児童の考えを問うことで児童の問いを引き出すきっかけになるよう工夫されている。(全学年) ・「読むこと」の単元では、様々な読みの視点が示されており、工夫されている。(全学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な子どもが挿絵の中に出てくるので、多様性に対して配慮されている点で工夫されている。(1年上) ・友達と対話を通して学びを広げたり深めたりできるよう学習内容が工夫されている。(全学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの物を題材とした教材があり、学習後も児童が実生活で興味を持てるよう工夫されている。(2年上) ・「対話の練習」では、実生活の場面でのやりとりを学ぶことができるよう工夫されている。(4年上) 	<ul style="list-style-type: none"> ・本の選書方法がいくつか紹介されており、児童の読書に生かせるよう工夫されている。(全学年) ・「漢字の広場」では、日記や物語で表現しながら漢字を使うことができる点で優れている。(2年以上) 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童から「問い」を引き出し、課題意識をもちながら学習を進めることができるよう工夫されている。 ・学習の最後に友達と対話をする活動が取り入れられており、対話を通して学びを再確認したり、さらに深めたりできるよう工夫されている。

選定に必要な資料

(種目名 書写)

No.1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	(1) 内容、程度、分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性、島根県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫	(6) その他	
A 東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> 全学年半紙と同じ比率のB5変型判で、紙面構成や配色が統一されており、どの部分に何が書かれているか捉えやすいように工夫されている。(4年p. 12-13) 基本点画の筆使いが分かるように示されており、穂先の動きに気を付けて練習できるように工夫されている。(4年以上p. 8) 	<ul style="list-style-type: none"> 表紙裏の目次やインデックスに学習事項を置き、系統性や既習事項を確認できるような工夫されている。(3年以上) 硬筆の中から見出した課題を毛筆で大きく書くことにより理解を深め、硬筆で他の文字に生かせる構成になっている。(4年p. 10-11) 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の導入時に使用できるQRコンテンツがあり、学習意欲の喚起につながるような工夫されている。(1年p. 4-5) 巻頭で、日常の課題解決につながる流れを漫画で示し、目的意識をもって学ぶことができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 全学年掲載の「学びを生かそう」では、読み手を想定した学習を設定し、1年間の学習を生かせるよう工夫されている。(3年p. 40-41) 対話的な学習を促す設問にはマークがつけられており、伝え合う学習につながる工夫がされている。(3年以上) 	<ul style="list-style-type: none"> 他教科等の学習と関連のある教材にはリンクマークをつけ、教科横断的な視点から学習に取り組めるよう工夫されている。(4年p. 24-25, 6年p. 38-39) 日常生活の中では横書きが多い現状に考慮し、1年時より横書きの単元が設けられている。(1年p. 22) 	<ul style="list-style-type: none"> 左利きと右利きそれぞれの利き手に合わせた練習書き込み欄を設ける等の配慮がされている。(1年p. 27, 6年p. 12) 二次元コードの中には、シミュレーションできるものがあり、字形を確認しやすい。(5年p. 10, 3年p. 22) 	<ul style="list-style-type: none"> 一単元の一つの「書写のかぎ」を置き、2年以上はその一覧を巻末に掲載して、学習のポイントを確認できるように工夫されている。(4年p. 10-11, 5年p. 42-44) 「しよしゃの学び方」に合わせて見開き2ページで紙面を構成し、学習の流れが捉えやすいよう工夫されている。(2年p. 2-3)
F 教育出版	<ul style="list-style-type: none"> 低学年では、文字の書き始めの位置が意識できるよう、家のマークが示され、その中でどの部屋から書き始めるかを意識できるようにしている。(1年p. 13) 巻頭に授業の様子や手書き文字のカラー写真を置き、学びをイメージできるように工夫されている。(全学年p. 1) 	<ul style="list-style-type: none"> 「学習の始めと終わりに書こう」という欄があり、学習前後の表情が分かるよう工夫されている。(4年以上) 右ページに毛筆手本を配置し、手本の文字をしっかりと見てから、左のページでポイントを確認しながら学習できるように工夫されている。(3年以上) 	<ul style="list-style-type: none"> 3年の毛筆の導入では、漫画や写真で毛筆を学習する意義を説明することにより、児童の学習意欲が高まるよう工夫されている。(3年表紙裏p. 1) 文字の組み立て方の学習では、自分のめあてをもとに左右と上下のどちらかを選んで書くことができるようになっている。(4年p. 36-37) 	<ul style="list-style-type: none"> 3年以上では筆圧を3段階に分け数字と図で分かりやすく示したり、朱墨を大きく配置したりすることにより、運筆を捉えやすいように工夫されている。(3年p. 25) 書写の言葉を使って友達同士で気づきを伝え合う活動が設定されている。(2年p. 19, 4年p. 17) 	<ul style="list-style-type: none"> 「レッツ・トライ」では、習得した書写の力を他教科等で使う学習を示し、関連を図ることができるよう工夫されている。(2年p. 26, 5年p. 30-35) 「知りたい文字の世界」では、生活とのつながりから文字文化への興味関心を高めるよう工夫されている。(5年p. 11, 6年p. 23) 	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢の合い言葉に「こしびん」を採用し、腰の位置に重点を置いてよい姿勢が保持できるよう配慮している。(全学年) 「しよしゃのたいそう」では、点画の書き方を示し、運筆を確認できるように工夫されている。(1年p. 45-46, 2年p. 10-11) 	<ul style="list-style-type: none"> 「学習の始めと終わりに書こう」では、硬筆での「ためし書き」「まとめ書き」により、変容を確かめられるよう工夫されている。(3年p. 16-17) 全学年で1ページ内の情報量を多くして、書くときのポイントを詳しく丁寧に説明している。(3年p. 16-17)
I 光村出版	<ul style="list-style-type: none"> 全学年半紙と同じB5変型判で、1年と3年には「スタートブック」を付け、イラストや写真を多用しながら新しい学びについて分かりやすく説明している点が優れている。(1年, 3年) 「たいせつ」で、学習のポイントとなる基礎基本が明確に示され、さらに巻末に「たいせつ」をまとめたページを設定し、学習の焦点化ができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 毛筆では、ねらいを達成するために児童の技能をふまえた課題(文字)が選定されている。(4年p. 8-9) 6年「書写ブック」では、小学校で学んだ内容を確かめ、学習や日常生活で主体的に生かせるよう工夫されている。(6年p. 21-28) 	<ul style="list-style-type: none"> 文字の書き方の原理原則が動物のキャラクターの動きで分かりやすく学べるように工夫されている。(1年p. 12-13, 5年p. 14-15) 「もっと知りたい」では、文字や道具等広く関心をもてる資料が掲載されており、動画でも学ぶことができるよう工夫されている。(3年p. 52-53, 6年p. 29-31) 	<ul style="list-style-type: none"> 「しよしゃたいそう」「せいりたいそう」により、書写の際の集中や姿勢保持、タブレット使用後の体ほぐしにつながるよう工夫されている。(1年p. 4-5, 5年p. 5) 4年の「身近な文字をさがそう」では、地域の身近な素材が画像で紹介され、文字への関心を高める工夫となっている。(4年p. 53) 	<ul style="list-style-type: none"> 「書写広げたい」「こ」とば」が新設されており、国語や他教科に書写の学びが広がるよう工夫されている。 「連絡帳の書き方」「ノートの人になる」など、日常生活にも書写の学びが生かせるような書き方の具体例が示されるとともに、全学年の巻末では保護者への呼びかけ欄も設けられている。(2年, 4年) 	<ul style="list-style-type: none"> 3年以上にSDGsへの取り組みを意識した情報が取り上げられている。(4年p. 21-24) 書字の解説動画は、上からと斜めからの映像及び字幕が効果的で理解しやすく優れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 1ページ内の説明の文字や絵が最小限に抑えられており、学習課題や大切なことを捉えやすいような紙面構成の工夫が優れている。 学習の進め方を「考えよう」「たしかめよう」「生かそう」に絞り、巻頭や各ページに示すことにより、児童が見通しをもって問題解決的に学べるよう工夫されている。

選定に必要な資料

(種目名 社会)

No.1

記号	選定に必要な資料の観点					総括	
	(1) 内容、程度、分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性、島根県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫		(6) その他
A 東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> 学習問題・計画に加え、まとめ方についても単元の導入部で示されており、単元のゴールを意識し、主体的に学習に取り組む態度を養う点において優れている。(3年p. 24-25) 「つかむ」「調べる」などの言葉が大きく記載されており、学習段階を把握しやすいよう工夫されている。(6年政治・国際編p. 24-34) 3社の中で、最もページ数が少なく、精選された内容となっており、週2~3時間の社会科の時間に学ぶ上で適した分量となっている。(3年) 	<ul style="list-style-type: none"> 単元導入時に、「気づきや疑問→学習問題→予想→調べる」という手順での学習方法が示されており、主体的に学習を行うための手立てとして優れている。(3年p. 24) 「まとめる」場面では、その単元で学習した用語が示されており、学習内容を教科書に直接書き込むことができるよう工夫されている。(6年政治・国際編p. 20-21) 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の様々な課題について比較・順序付けする学習では、思考ツールのダイヤモンドランキングを用いることで、児童が主体的に取り組めるよう工夫されている。(6年政治・国際編p. 34-35) QRコードを読み取ることで、家庭ごみの実際やごみの分類種別についての動画を視聴することができ、家庭学習としての活用など、児童の興味・関心を引く手立てとして優れている。(4年p. 55) 	<ul style="list-style-type: none"> 6年「今に伝わる室町文化」では、雪舟が島根県を訪れたことが取り上げられている。(6年歴史編p. 58) 6年「戦国の世から天下統一へ」では、石見銀山がヨーロッパやアジアの経済や文化の交流に大きな役割を果たしたことが取り上げられている。(6年歴史編p. 73) 4年「きょう土の伝統文化の先人たち」では松江城の取り壊しの危機を救った人々のことや松江城を生かしたまちづくりの事例が取り上げられている。(4年p. 128) 	<ul style="list-style-type: none"> 「方位じしんと地図の方位」について、「教科関連マーク」により理科の「方位じしんの使い方」と関わりがあることが示されており、他教科と関連付けて学習できる点において優れている。(3年p. 11) 「いかす」場面においてマイ・タイムラインの作成例が示されており松江市のマイ・タイムラインと関連付けて作成する活動を通して、選択・判断する力を養うことが期待できる構成となっている。(4年p. 88) 	<ul style="list-style-type: none"> 5・6年の教科書は、2分冊構成されており、資料内容の充実とともに、重量負担軽減にも配慮されている。(5年, 6年) QRコードの横に関連した言葉が記載されており、一目見てどのような内容のコンテンツが入っているか、分かりやすいように工夫されている。 文字が大きめに記載されており、3, 4年生にとって読みやすいよう配慮されている。(3年, 4年) 	<ul style="list-style-type: none"> ドラえもののアイコンにより、社会科の見方・考え方が示されており、それらの見方・考え方を働かせながら、問題解決的な学習を進める点において優れた構成となっている。(3年p. 24) 社会科の学習の進め方について最後に「まとめ方」を提示することにより、単元のゴールを意識しながら、本時の学習に取り組むことが可能な構成となっており、見通しをもって学習を行う上で優れた構成となっている。(3年)
F 教育出版	<ul style="list-style-type: none"> 全学年の巻頭にて解説されている「社会科で使う見方・考え方」について太字で強調して表記されており、見方・考え方を働かせるヒントを得られるように配慮されている。(6年p. 5) 1時間(見開きページ)の学習の最後に「次につなげよう」として次時での問いが示されており、本時の学習を生かし、主体的な学びを促すことに適した構成となっている。(4年p. 35) 	<ul style="list-style-type: none"> 「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」の単元の流れが全ページに記されており、単元の見直しをもつことや、本時の立ち位置をつかむ点において優れている。(3年p. 106) 歴史年表は、開くと古代から現代まで見通すことができる形になっており、裏面は年表の見方やイラストマップが掲載されている。(6年p. 73-76) 	<ul style="list-style-type: none"> 「まとめる」場面において、多面的・多角的に考え、表現することができるよう工夫されている。(5年p. 86) 「まなびリンク」が示されおり、動画、ワークシート、ウェブサイト、読み物、クイズのデジタルコンテンツを活用して、児童が主体的に取り組めるように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 6年「わたしたちの暮らしを支える政治」では、人口減少をめぐる課題解決の例として松江市のコミュニティバスの事例が取り上げられている。(6年p. 44) 1ページに渡って竹島領土問題が触れられており竹島が島根県に属する日本の領土であること、韓国が不法占拠していることなどが記載されている。(5年p. 17-18) 	<ul style="list-style-type: none"> QRコードを読み取り地域安全マップづくりを通してプログラミング学習を体験できるよう工夫されている。(3年p. 127) 巻末にSDGsとのつながりについての記載があり各章での学習内容を振り返り、自分たちにできることを考えるよう促すことで選択・判断する力を養えるよう工夫されている。(3年p. 162) 	<ul style="list-style-type: none"> 全学年の巻頭にて「タブレット型コンピューターを生かそう」を設けることにより、タブレット端末活用の促進、手助けとなっている。(5年p. 2-3) 6年の歴史学習では白黒写真をカラー化した画像資料が多くあり、児童の学習意欲を高める工夫がされている。(6年p. 204, 220) 	
L 日本教出版	<ul style="list-style-type: none"> 文章を3つの役割にわけて提示したり、文章の背景に色を付けたりすることで、学習内容を正確に理解できるように配慮されている。(6年p. 72-73) ほとんどのページにQRコードがあることにより、学習の補助となり、主体的な学習を促す構成となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元見開き2ページに写真や図表が大きく掲載されており、単元導入において、児童が興味をもてるよう構成が工夫されている。(5年p. 238-239) QRコードを読み取ることで、支所職員の話動画を聞くことができ、教科書の記載に加えた内容を学べる構成となっている。(3年p. 18) 	<ul style="list-style-type: none"> QRコードを読み取ることでアプリケーションにより日本の都道府県をすごろくゲームにより巡ることができ、各都道府県に興味・関心をもてるよう工夫されている。(4年p. 8) 見方・考え方を働かせる場面において、シンプルにアドバイスが記載されており、学習に意欲的に取り組めるよう工夫されている。(5年p. 32) 	<ul style="list-style-type: none"> 6年「大昔のくらしとくにの統一」では、「出雲国風土記」が写真入りで紹介され、郷土の歴史に関心が高まるように工夫されている。(6年p. 81) 6年「天皇を中心とした政治」では、隠岐国から都に送られた税の荷札が紹介され、郷土の歴史に関心が高まるように工夫されている。(6年p. 94) 	<ul style="list-style-type: none"> 6年「新しい日本の歩み」では、日本や国際社会を取り巻く課題として、新型コロナウイルス感染症の事例が取り上げられている。(6年p. 225) 「未来につなげる」のページが豊富で、SDGsに関連付けた学習を行うことができるよう工夫されている。(5年p. 66-67) 	<ul style="list-style-type: none"> QRコードを読み取ることで、WordやGoogleドキュメントでワークシートを開くことができ、端末に応じて編集を行うことができるよう配慮されている。(4年p. 39) 「深め合い」活動のモデルが漫画形式で記載されており、多面的な思考を促す工夫がされている。(6年p. 270-271) 	

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 地図)

No.1

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点					総 括	
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性, 島根県の 実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との 関連についての工夫	(6) その他	
A 東京書籍	<p>・全102ページの構成で日本の地方別の地図は1/100万の他に4つの大都市では土地利用に焦点をあてた1/50万の地図表現が取り入れられている。(P. 23, 31, 39, 43)</p> <p>・3年生からの地図利用に対応するため, 地図のなりたちやきまり, 使い方についてキャラクターも使い, 吹き出しを使って全8ページで構成されている。(p. 7-14)</p>	<p>・社会科の指導内容との関連を考えた多様なテーマの地図やグラフ, 写真資料などが表現されており, 様々な特徴を考えることができるような構成となっている。(p. 69-76)</p> <p>・「日本の歴史」では日本と世界の出来事について地図と年表を関連させながら学習できるように構成されている。(p. 77-80)</p> <p>・「日本の貿易」では輸入と輸出が見開きで対になるように配置され, 比較がしやすくなっている。(p. 75-76)</p>	<p>・学習内容と関連した4つのデジタルコンテンツがあり, 地図と実際の映像で土地利用の様子を確認することができるようになっている。(p. 35, 42, 48, 51)</p> <p>・土地の高さが陰影をおさえた明るい色合いで表現され, イラストを多用し工夫している。首都東京の地図では人口比較やパノラマ的な写真を紹介している。(p. 45)</p>	<p>・竹島について, 地図内に, 竹島の拡大地図と写真が併記されている。(p. 25) また, 「世界とのかかわり」の明治初期に確定した日本の領土の地図の中に, 1905年日本に編入されたことについても明記されている。(P. 80)</p> <p>・日本の自然災害の災害地図の中に, 活火山として三瓶山が記されている。(p. 98)</p> <p>・「日本の伝統文化」の地図に島根県の美保神社の青柴垣神事が記載されている。(p. 81)</p>	<p>・「日本の自然災害」では, 日本列島の地図内に近年の台風・大雨・洪水の被害が大きかった場所が記されている。(p. 97-99)</p> <p>・世界のページでは, 様々な国の自然や文化に関心をもてるように世界に生息する動物や料理をイラストや写真で取り上げ紹介している。(p. 60, 62, 66)</p>	<p>・北極圏やオセアニアを示した地図では世界を大観できる工夫がされている。(P. 55-56)</p> <p>・「世界全図と地球儀」では, 子どもが地球儀を使って学習する写真を2ページにわたり記載し, 地球儀の活用の仕方が分かりやすく紹介されている。(p. 53-54)</p>	<p>・地形の様子表現は陰影をおさえた明るい色合いとなっている。子どものキャラクターや写真, イラストなどを多用し, 視覚的に理解しやすい工夫がされている。</p> <p>・竹島をはじめ, 島根県についての情報が豊富に記載されている。</p>
J 帝国書院	<p>・全132ページの構成で土地の高低と土地利用による色分けを組み合わせ, 方位, 俯瞰図, 縮尺などの表示も視覚的にも捉えやすい地図表現となっている。また, 基本的なグラフの読み取り方についても詳しく提示されている。(p. 97)</p> <p>・児童の発達に合わせ3年生に読み取りやすい地図から4年生以上の児童向けの地図を工夫し, 学年ごとに使い分けができる点が優れている。</p>	<p>・広く見わたす地図→日本の各地方→世界の地図と配列し, 児童の発達や社会科及び各教科と関連させ活用度の高い配列になっている。(p. 21-30)</p> <p>・「世界と地球儀」と関連させながら, 「オセアニア・アジア」の地図は, ランベルト正積方位図法が記載され, 世界の中だけでなく地球全体を意識しながら考えることができるように構成されている。(p. 83-84)</p> <p>・「江戸時代の結びつき」では, 歴史的な語句と位置を確認できる他に, 学習に活用できる参勤交代や江戸をテーマにした地図が掲載されている。(p. 55, 69)</p>	<p>・地図のきまりや地図帳の使い方について動画を用いて理解できるように工夫している。(p. 7-20)</p> <p>・47都道府県のデジタル地図では, 地形や産業・伝統文化・先人など8つの主題図を表示できる。また, 児童の興味・関心に応じて選択できる豊富なコンテンツが工夫されている。(p. 33-80)</p> <p>・「近畿地方」の地図の後に, 奈良市, 京都市の地図を記載し次ページに歴史との関わりとして「江戸時代の結びつき」へと関連させ, 歴史的な語句と位置を確認できる他に, 参勤交代や江戸時代に関わる資料が多数紹介されている。(p. 53-56)</p>	<p>・竹島について, 中国地方の地図の中に拡大図で位置を示すと共に, 「日本の領土とそのまわり」では, 写真と解説で紹介している。(p. 31-32, 39)</p> <p>・石見銀山については中国地方の地図で位置を示すと共に, 「日本の世界遺産」でも紹介している。デジタル資料では, 石見銀山の地図が示され, 写真で見ることでもできる。(p. 127)</p>	<p>・日本の気温・気候と関連させ, 次頁で「自然災害と防災」について, 事例や防災・減災の取り組みや自助の取り組み方など工夫した紹介がされている。(p. 99-102)</p> <p>・持続可能な社会の実現に向けたSDGsの学習を行うのに適した各地の取り組みや課題について写真やイラスト, グラフなどを工夫した構成となっている。(p. 125-126)</p>	<p>・QRコードの「いろいろな世界地図」には, 逆さになった世界地図や外国語の地図などの7種類ものコンテンツが工夫されている。</p> <p>・「世界の地図」には, 「世界の子どもたち」「世界のSDGs」などについて写真を提示し, 各国の文化やSDGsへの取組を紹介している。(p. 83-94)</p> <p>・「日本の世界遺産」のデジタル資料には, 地図と共にすべての世界遺産のカラー写真が掲載されている。(p. 127)</p>	<p>・全体的に児童の発達に合わせた地図学習の配列が工夫されている。様々な地図やグラフが用いられており, 基礎的・基本的な知識・技能が身につくよう構成が工夫されている点も優れている。</p> <p>・興味を引くデジタルコンテンツが豊富で児童が選択できるような工夫されている。</p> <p>・土地利用の色分けが視覚的に捉えやすく, 地形の様子を立体的に理解できるように地図表現が工夫されている。</p>

選定に必要な資料

(種目名 算数)

No.1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	(1) 内容、程度、分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性、島根県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫	(6) その他	
A 東京書籍	<p>・授業の展開や児童の思考の流れを想定した内容になっており、発達の段階に応じて図や発問、吹き出しを設け、児童が考える部分を残しながら進めることができるようになっている点で優れている。(3年p. 54)</p> <p>・12×4のような、かけ算のきまりを使って発展的に求める計算は九九が定着した3年生で取り組むように配慮されている。(3年上p. 17)</p>	<p>・デジタルコンテンツを活用して、問題解決ができるようなシミュレーションなどが多数(約1450個)用意されている。児童用デジタル教科書で、実際に操作して主体的に解決したり、操作しながら協働的な学びへつなげたりすることで深い学びや理解に役立てられるよう工夫されている。(2年下p. 76)</p>	<p>・オープニングムービー(約2分の動画)では、日常生活から課題意識を持ち学習への興味・関心を引き付ける工夫がされている。(4年上p. 36, 3年生以上全20本)</p> <p>・単元の終わりには、「ますりん通信」を設け、身近な算数の話題に触れ、算数への興味・関心が高まるよう工夫されている。(5年上p. 29)</p> <p>・5年「直方体や立方体の体積」では、AR機能を使って1m³の量感を養う工夫がされている。(5年上P26)</p>	<p>・「今日の深い学び」を設定し、論理的思考力や数学的な表現力をさらに高められるように工夫されている。(6年p. 127-129)</p> <p>・全国学力調査や標準学力調査の結果について、つまずきやすい箇所では、教科書の展開において数直線図で2量の関係を捉えやすくしたり、アニメーションで動的・視覚的に理解できるようにしたりして工夫されている。(5年下p. 34-35)</p>	<p>・「いかしてみよう」は、単元の学習で大切にしたい数学的な見方・考え方を振り返り、生活や次の学習へ生かそうとする態度を養うことができるよう工夫されている。(2年-6年)</p> <p>・「算数とわたし」では、大谷選手や野口さんなど世界レベルで活躍する人と算数との関わりを知ることにより算数の身近さや有用性を味わい、意欲が高まるような工夫がされている。(4年-6年)</p>	<p>・従来の教師用指導書の他に、新たに指導者用デジタルブック、授業支援ツールを活用した確認テストが用意され、多忙な教員の授業準備や教材研究を効率的で充実したものにするための配慮がされている。</p>	<p>・記述や展開は、授業の展開や児童の思考の流れを想定し、発達の段階に応じて図や発問、吹き出しを設け児童が考える部分を残しながら進めることができるようになっている点で優れている。(3年p. 54)</p> <p>・オープニングムービー(約2分の動画)やAR(拡張現実)などのデジタルコンテンツが充実しており、学習への関心や深い学びにつながるよう工夫されている。</p>
B 大日本図書	<p>・2年以上が各学年1冊で構成されており、学年全体の学習を見通し、振り返りや学び直ししやすいように配慮されている。</p> <p>・ページの左側に問題をつかむ場面、自分で考える場面などタグがついており、スムーズに学習できるよう工夫されている。(2年p. 25)</p>	<p>・児童に意識させたい数学的な見方・考え方を「算数の大切な考え方」としてまとめ、問題によって使い分ける見方・考え方を「ひらめきアイテム」として掲載している。(2年以上p. 11)</p> <p>・各学年の「じっくり深く学び合おう」は、授業の流れを写真でより詳細に記述した特別バージョンに工夫され授業展開や協働的な学びをより具体的にイメージできるようにになっている。(5年p. 28-31)</p>	<p>・「ふくろう先生のなるほど算数教室」を設定し、おもしろい算数の問題や話題に触れることで算数の興味・関心が高まるよう工夫されている。(3年以上)</p> <p>・QRコードにウェブコンテンツの内容が示されており、学習に活用しやすいよう工夫されている。</p>	<p>・「なるほど算数教室」では、SDGsの目標の中から「大きな数で見る世界の課題」について示し、関心を促している。</p> <p>・「読みとる力をのばそう」では、1年から読解力や表現力、活用力を高める問題を取り入れる工夫がされている。</p>	<p>・「おうちで算数」では、家庭との連携を図り、学習したことを家庭での生活にも生かせるように促す工夫がされている。(3年p. 212)</p> <p>・「算数たまたまばこ」では、身の回りから学習に関係のある事象を掲載し、実生活と結びつけて考えられるように工夫されている。(2年p. 136)</p>	<p>・「プログラミングにちょうせん」を1年から設定し、2年以上では、実際にビジュアルプログラミングを取り入れ、論理的思考の積み重ねができるように工夫されている。</p> <p>・めあてに対応するまとめを「発見！」として掲載し、児童の言葉で学習を振り返られるようになっている。</p>	<p>・「ひらめきアイテム」や「タグ」により、数学的な活動で働かせる見方・考え方や問題解決の過程を児童が確認しながら学習を進められるようになっている。(2年p. 11, 53)</p> <p>・2年以上が各学年1冊で構成されており、学年全体の学習を見通し、振り返りや学び直ししやすいように配慮されている。</p>
D 学校図書	<p>・6年生に別冊「中学校へのかけ橋」が用意されている。小学校の内容を振り返るとともに、少し先の中学校の学びに触れることができ、中学校「数学」へのスムーズな接続に配慮されている。</p> <p>・「3桁の筆算」では線分図を作図したり、「円と球」の単元では実際にコンパスを用いて作図したりするスペースが設けられており教科書上で表現できるように工夫されている。</p>	<p>・単元の導入では、生活やこれまでの学習で見つけた「はてな」を漫画形式で表し、学習意欲を高めながら、「めあて」の設定をする構成が工夫されている。</p> <p>・単元末の演習問題「できるようになったこと」で基本の確認ができ、「まなびを生かそう」で活用力を付けることができるよう構成されている。(全学年)</p>	<p>・算数の学び方に特に重要だと考えられる9つの「見方・考え方」を9体の「考え方モンスター」にキャラクター化して常時活用することで、児童が楽しみながら見方・考え方を働かせていけるよう工夫されている。(全学年)</p>	<p>・全国学力調査の正答率が低い内容や児童がつまずきやすい内容について「算数パトロール隊」を設け課題形式で確認できるようになっている。(2年-6年)</p> <p>・「図や表を使って問題を考えよう」では、問題解決にあたって、図や表などをよりよく活用し系統的に学習できるように工夫されている。(3年-6年)</p>	<p>・「算数をつかって」のコーナーでは、SDGsの関連を図るだけでなくキャリア教育につながる自己評価(パフォーマンス評価)など、さまざまな教育課題に対応した内容が取り上げられている。(2年-6年)</p>	<p>・教科書のサイズが大きめで、紙面がゆとりをもって表現されており、教科書を開くとフラットな状態で操作活動がしやすいよう工夫されている。</p> <p>・2年生上から6年別冊までの「〇年生で見つけた見方・考え方」をつなげて1枚のマップにすることができ、見方・考え方の連続性と系統性を視覚的にとらえられるよう工夫されている。</p>	<p>・算数の学び方に特に重要だと考えられる9つの「見方・考え方」を9体の「考え方モンスター」にキャラクター化して常時活用することで、児童が楽しみながら見方・考えた方を働かせていけるよう工夫されている。(全学年)</p> <p>・教科書のサイズが大きめで、紙面がゆとりをもって表現されており、教科書を開くとフラットな状態で操作活動がしやすいよう工夫されている。</p>

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点						総 括
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性, 島根県の 実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との 関連についての工夫	(6) その他	
F 教育出版	<ul style="list-style-type: none"> 働かせたい「見方・考え方」を、巻頭や単元の間で「ミカタ」として掲載し、問題解決場面で活用できるように工夫されている。 巻末の「学びのマップ」では、これまでの学習とのつながりや、振り返りがしやすいように工夫されている。(2年以上) 	<ul style="list-style-type: none"> 授業開きに「算数がすきになるはじめの一步」が掲載されており、楽しく学習が進められるように、進め方や学び方が共有できるように工夫されている。(2年以上) ページの下段には、「算数ひろば」や「もっとやってみよう」のコラム的な内容を設けており、ミニ知識や学力補充に役立つ工夫がされている。(5年p. 156, 158) 	<ul style="list-style-type: none"> 単元のまとめでは、数学的な見方・考え方を4コマ漫画で掲載し、楽しく振り返られるように工夫されている。 表紙は、算数との出会い、楽しさを味わうことのできるものとなっているだけではなくアニメーションもついており、より親しみやすくなっている。(1年-6年) 	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に「学びのマップ」として既習事項のポイントや「まとめアニメーション」が掲載されており、分からない箇所や関連する内容を振り返りやすいように工夫されている。(1年-6年) 単元の導入に「算数がすきになるはじめの一步」のコーナーが設けられており、算数に親しみをもてるように工夫されている。(2年-6年) 	<ul style="list-style-type: none"> 単元末「学んだことを使おう」では、算数の学習と日常の場面をつなげ、問題を解決することで「使える」学力になるよう工夫されている。(2-6年) 「たし算とひき算」の単元後に、お小遣い帳をつける活動を設け、実生活に生かせるようにしている。(3年) 	<ul style="list-style-type: none"> 4年以上の「広がる算数」では、算数の学びと実生活で起こりうる不思議や興味をそそる課題を取り上げ、探究的に課題解決していくのに適している。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元末の4コマ漫画では数学的な見方・考え方を振り返り、「学びのマップ」では、学習内容の系統性が確認できるようにになっている。(5年p. 188, 300) 巻末に「学びのてびき」として既習事項のポイントや「まとめアニメーション」が掲載されており、分からない箇所や関連する内容を振り返りやすいように工夫されている。(1-6年)
K 新興出版 啓林館	<ul style="list-style-type: none"> 各単元において、身近な題材や既習の内容から導入し、児童の思考の流れに沿ったスモールステップで学習が進められよう配慮されている。(3年上p. 96-101) 数量関係や演算決定に関わる図として、具体的操作からテープ図、線分図、数直線図と学年ごとに系統的に取り扱われていることや関係図も取り上げてあり、より多面的に考える力を育てる点で優れている。(2年p. 57, 5年p. 38) 	<ul style="list-style-type: none"> 「めばえ・めあて・まとめ」の構成により、気付きからめあてをもって学習に向かい、まとめたことから次時の課題をもつというサイクルとなるように工夫されている。(全学年) 「面積」では、底辺と高さの関係を見つけて直角三角形から導入し、三角形や平行四辺形に移行していく構成となっている。(5年p. 135) 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の各ページには「動かす・動画・問題・スライド・解説動画」の5種類のデジタルコンテンツ(1614個)が用意され、効果的に学習を進める工夫がされている点で優れている。また、デジタルコンテンツには、見出しがついて活用しやすいよう配慮されている。(4年上p. 85) 5年面積の求め方を考える学習では、デジタルコンテンツを使うと、児童一人一人がタブレットで図形を切ったり回転させたり試行錯誤しながら主体的に学習に臨めるよう工夫されている。(5年p. 137) 	<ul style="list-style-type: none"> 全学年で系統的にプログラミング単元を設定し無理なく楽しんで論理的思考を育み、算数の学びへとつながるように工夫されている点で優れている。(6年p. 186) 全国的にもつまずきがちな割合の内容を、5年生では、各学期に配置し、系統的に習熟が図れるよう配慮されている。(5年p. 68-75, 174-187, 206-215) 	<ul style="list-style-type: none"> 仁摩サウンドミュージアムや雲州そろばん、出雲大社などが掲載されており、より算数を身近に感じることができる。(3年下p. 6, 100, 4年下p. 21) 6年「未来へのとびら」では、キャリア教育との関連において仕事や生活の中で算数が役に立つことが実感されるよう工夫されている。(6年p. 230-240) 	<ul style="list-style-type: none"> 全ての主問題で、QRコードから「解説動画」の視聴ができ、学び直しができるだけだけでなく災害に伴う休校時などにおいても学びの保証ができる点で優れている。(1年p. 90, 全学年) 数図ブロックと数図カードの配列が一致しており(5の2列)数を直感的に捉えイメージの形成に有効である。(1年) 	<ul style="list-style-type: none"> 数量関係や演算決定に関わる図として、具体的操作からテープ図、線分図、数直線図と学年ごとに系統的に取り扱われていることや関係図も取り上げてあり、より多面的に考える力を育てる点で優れている。(5年p. 38) 教科書の各ページには「動かす・動画・問題・スライド・解説動画」の5種類のデジタルコンテンツ(1614個)が用意され、効果的に学習を進める工夫がされている点で優れている。 QRコードから「解説動画」の視聴ができ、学び直しや災害に伴う休校時でも学びの保証ができる点で優れている。(全学年)
L 日本 文 教 出 版	<ul style="list-style-type: none"> 数学的な見方・考え方が明記されており、見通しを立てたり、筋道を立てて考えたりする着眼点となるように工夫されている。(全学年) 「算数マイトライ」のページが設定されており、個に応じた学習状況や実態に応じて選んで取り組めるように配慮がされている。(2年-6年) 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の終わりに「まちがえやすい問題」「見方・考え方がみがかう」「たしかめよう」と学習したことや定着できるように復習ページを設ける工夫がされている。 協働的な学びでは、教室での学習場面を模した紙面構成で、課題解決までの流れがイメージできるように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「なるほど算数！」を設け、単元の学習に関係する身近な題材から算数が使われている場面を紹介し、児童の興味を引く工夫がされている。(4年上p. 18) 5年「図形の合同と角」では、巻末の付録を使って三角形で敷きつめをする活動を通して、児童の興味関心を高める工夫がされている。(5年p. 80) 	<ul style="list-style-type: none"> 学年末に「レッツプログラミング」を設け、1年から論理的思考が少しずつ身に付くように系統立てて取り上げている。4年でアルゴリズム、フローチャートなどの用語を取り入れ、5年からスクラッチで実際にプログラムをつくっている。 中学へ向けてスパイラルに学習する意識をもてるよう中学校接続マークをつけている。(5年p. 75) 	<ul style="list-style-type: none"> 「算数ジャンプ」を設け、他教科や日常生活と結びつけた総合的な問題を取り上げ、読解力や表現力、活用力を高める問題を取り入れる工夫がされている。 「使ってみよう」では、学習したことを生活の場面に生かし、算数の楽しさや意義を実感できるよう工夫されている。(3年上p. 135) 	<ul style="list-style-type: none"> スピンの(しおりのひも)を教科書で初採用され、子ども達が教科書のどこを学習しているかが一目で分かる工夫がされている。(5年, 6年) 上巻巻末に「学び方ガイド」がついており、切り取って常に「算数で使いたい見方・考え方」を活用できるように工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻末の付録が充実しており、児童の関心を高めながら効果的に学習できるように工夫されている。 学年末に「レッツプログラミング」を設け、1年から論理的思考が少しずつ身に付くように系統立てて取り上げている。4年でアルゴリズム、フローチャートなどの用語を取り入れ、5年からスクラッチで実際にプログラムをつくっている。

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	(1) 内容、程度、分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性、島根県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫	(6) その他	
A 東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・大判になっていることで文字が大きく見やすい。また、写真や図が分かりやすく配置されていて、予想を立てやすさ、結果のまとめやすさにおいて優れている。 ・どの学年も問題解決の過程が明確になるよう、「理科の学び方」のページがあり、学年に応じた身に付けた「理科の力」が示してある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の導入では、これまでの学習とのつながりが示してあり、前に学習したことを踏まえて学習できるようにになっている。「物のとけ方」では発展として中学での学習が示してあり系統性が見えやすい。(5年p. 107) 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元導入を3ページ構成にしている。1, 2ページ目の導入の体験や写真資料をもとに3ページ目で対話を通して思考を広げ、深めるという構成になっており、互いに意見し、議論する中で多様性を尊重する態度の育成や他者と関わりながら問題解決できる点で優れている。(3年p. 82-84, 4年p. 30-32) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「流れる水のはたらき」では、斐伊川が紹介されている。(5年p. 76) ・「大地のつくりと変化」では、ジオパークがとりあげており、隠岐ジオパークの知夫赤壁が紹介されている。(6年p. 118) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の巻末資料に「算数科で学んだことを活用しよう」がある。また、「理科とプログラミング」「理科とSDGs」があり、未来へつながる学びの分かりやすさがある点で優れている。 ・「理科の世界、探検部」は学習内容と関わりある職業や物について紹介してあり、実生活とのつながりをもてる点で優れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルコンテンツの中にはNHK for schoolの動画もあり、学習内容にそった動画にすぐにアクセスでき、教師が教材を準備するのに優れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大判になっていることで写真が見やすく、導入の写真から学習や実験の予想を立てやすく、全体的に丁寧に作られているので、見直しをもって学習を行うことができる点で優れている。 ・デジタルコンテンツには、実験の方法、話し合いの例など掲載し、繰り返し視聴することで、学習に向かいやすいよう工夫されている点で優れている。(6年p. 201)
B 大日本図書	<ul style="list-style-type: none"> ・大判になっており、図や写真などが見やすい紙面構成である。 ・発展学習のページは学習内容とは別のページがとってあり、内容が理解しやすい。(6年p. 51) ・予想と計画が明確に分けてあり、例が示されているため、話し合いの視点が持ちやすくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・6年「植物の体のつくりとはたらき」では、単元を2つに分けてあり、光合成の実験など、時期的に取り組むやすくなっている。(6年p. 22, 56) ・4年「わたしたちの体と運動」では、簡単な模型を作ることで、腕が動く仕組みや構造を児童が理解しやすいよう工夫されている。(4年p. 117) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の導入とまとめにある「ここに注目」では視点を明確にしているので学習への関心が高まるよう工夫されている。(3年p. 127) ・「理科のたまたまばこ」では、学んだことに関する読み物があり、学習したことをより深めていくのに効果的である。(3年p. 123, 4年p. 151) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の大切さ、日本の伝統や文化への関心、災害を防ぐ、科学技術への関心、理科と仕事の関わりについてはそれぞれ関連するページにはマークがされており、教科の特性を生かした工夫がされている。(6年p. 18-19, 146-147, 165) ・資料「理科のたまたまばこ」では、科学館や博物館へ行ってみたいよう促す記載があり、学習をさらに発展させることができるよう配慮されている。(3年p. 48) 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末に算数科やその他の教科とのつながりについての記載がある。 ・「学びをリンク」では、学んだことが実生活でどのように活用されているのか、どのようにつながっているのかについて書かれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出てくるキャラクターや人物が国籍や肌の色が様々で多様な社会への配慮がなされている。 ・どのQRコードからも、全学年のデジタルコンテンツが見られるようになっており、児童が学びを深めるだけでなく、教師の教材研究にも役立つようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の導入とまとめにある「ここに注目」では視点を明確にしているので学習への関心が高まるよう工夫されている。(3年p. 127) ・実験の時期や実験の道具等が工夫されている。
D 学校図書	<ul style="list-style-type: none"> ・どの学年においても問題解決過程と、学年別の付けたい力や具体的な取り組み方が明示され、優れている。 ・各ページに、問題解決過程のどこを学習しているか明示されており、優れている。 ・全単元の導入ページに身に付けさせたい資質・能力を理科モニターと連動させて示し、児童が見直しをもって学習に取り組めるよう配慮している点が優れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「流れる水の働き」の単元の後には、「川と災害」とし、単元のひとつとして挙げている。(5年p. 116-) ・どの学年も p. 2~3 に「大地」「生命」「もののはたらき」「ものの性質」の分野ごとにどんな学習をするのかまとめてあり、学ぶ視点が短く分かりやすく記載されている。 ・「かげと太陽」が夏至に向かって太陽の位置が高くなる1学期に設定してあり、かげの変化もはっきり分かる構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年で働かせたい見方や考え方を理科モニターというキャラクターの特性に見立てたことで、児童が楽しみながら活動に取り組むことができる。また、学年が上がるごとにキャラクターがレベルアップしていき、見方や考え方への関心が高まるような配慮がされており優れている。 ・学んだことが生活の中に生かされていることを「もっとしりたい」「やってみよう」などで紹介している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「雲と天気の変化ー冬から春へー」では、日本海側の様子として松江市が取り上げられ、「雪の松江城」の写真が掲載されている。(5年p. 142) ・「火山の噴火と地震」では、ジオパークのことが取り上げられて、出雲市の砂岩と泥岩からなる地層が掲載されている。(6年p. 153) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「もっとしりたい」では、実生活の中に存在する単元で学んだことが記載されており、学びを深めるのに工夫されている。また、くらし・仕事・防災などのマークがその資料の視点を明確にしている。(3年p. 90) ・全学年の巻末の「考えよう、調べよう」にて図書館やICTの活用の仕方が掲載され思考をさらに深めるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・裏表紙には、各単元で学んだことがSDGsのどの目標に繋がっていくのかが示してある。 ・QRコードからは、問題作り・実験方法・結果・活用・振り返りとそれぞれに合ったデジタルコンテンツで主体的に学べるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・じっくりと理科学習に向かい、学習内容を積み上げる紙面構成とデジタルコンテンツを組み合わせることで、児童の実態に応じた学習を行う点で優れている。 ・見方・考え方をキャラクター化したことで、つけたい資質能力が明確であり、児童は楽しみながら力をつけ、教師は視点を明確にとらえながら授業を行うことができるよう工夫されている。
F 教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ・その学年で学ぶ大事な言葉が太字で黄色のラインを引いて表現され、見やすくなっている。(4年p. 51) ・導入部分や予想場面では、既習事項「思い出そう」を記載することで、根拠を明確にした予想を立てられる工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元を学習する際に、モデルとなる児童がいて、学習前の〇〇さん、学習後の〇〇さんのように自分の考えに変化があったか確かめやすくなっている。(4年p. 142, 5年p. 90) ・実物大の人体図が複数ページにわたって掲載されている。(6年p. 42-45) 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末以外にも、宇宙飛行士、解剖学者・恐竜学者・科学コミュニケーション学者などからのメッセージが多数記載されており、理科の学習がどのように広がるのか児童が興味関心をもつような工夫がされている。 ・生活から理科へのつながりが紹介してあり、これから始まる理科の学習への興味・関心を高める工夫がされている。(3年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「理科の見方」や「理科の考え方」で注目するところにカギのマークがついており、児童に理科に関する見方、考え方が身に付やすいように工夫されている。(6年p. 164, 166) ・「振り返ろう」では、学習したことを写真や図を交えて短い言葉でまとめてあるので、学習した内容の特性が視覚的にも理解しやすい。(4年p. 142) 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭には「自分たちの考えを伝え合い、学び合おう～国語で学んだ力を生かそう～」があり、国語の学びを生かした話し合い活動の視点が明確になっている。 ・巻末には「算数とのつながり」を記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・裏表紙にある学びリンクを読み取ることで、学年の単元に関するデジタルコンテンツを見ることが出来る。 ・裏表紙に理科の安全の手引きが記載されており、実験・観察の時、手軽に確認できる配慮がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年の巻頭には、国語科、巻末には算数科との関連が明記されており、他教科で学んだことを活用できる構成となっている。(3年p. 5, 185) ・各単元を学習する際に、モデルとなる児童がいて、学習前の〇〇さん、学習後の〇〇さんのように自分の考えに変化があったか確かめやすくなっている。(4年p. 142, 5年p. 90)

号	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性, 島根県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫	(6) その他	総括
K 新興出版社 啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ICT活用のページがあり, タブレットを使ってどんなことができるのかをわかりやすく紹介してある。(4年p. 4-5) 「まとめノート」のページに単元で学んだことがわかりやすくまとめてある。また, ページの下に新しく学習した理科の用語が載っている点が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 季節ごよみを見ることで, 植物を育てる時期が分かりやすくなっている。(3年-5年p. 7, 6年p. 9) みんなで使う理科室のページがあり, まちがい探しをしながら理科室の正しい使い方理解する構成になっている。(4年p. 110) 	<ul style="list-style-type: none"> 導入ページには, 関連する既習事項を載せており, 興味・関心をもって学習できるよう工夫がされている。 巻末に3年「植物探検シート」「昆虫探検シート」が添付されており, 興味・関心を高める工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「流れる水のはたらき」では, 川の増水によってけずられた地面の様子として江津市が取り上げられている。(5年p. 115) 「大地のつくりと変化」の火山の地層で松江市の様子が紹介されている。(6年p. 132) 	<ul style="list-style-type: none"> 「STEAM」(理科, 技術, ものづくり, アート, 算数の頭文字)の表示をつくり, 理科だけでなく, 他のこととも関連して学べる工夫がなされている。(6年p. 170-171) くらしとリンクでは, 単元で学習したことを内容と関連のある話題が紹介してあり, 実生活の中でどのようなつながりがあるのか解説している。(3年p. 131, 5年p. 160-161) 	<ul style="list-style-type: none"> デジタルコンテンツの中には, 計算ソフトがあるものもありデータのまとめがしやすい工夫がされている。(5年p. 130) 振り返り問題を解くときに, わからなかった問題があるときは, 「スマートかいせつ」のコーナーがあり, QRコードを読み取って, 解説動画を見て確認することができる。また, 字幕表示ができる配慮もされている。(3年p. 106) 	<ul style="list-style-type: none"> デジタルコンテンツが充実しており, ICTの活用の仕方紹介してある。 「STEAM」(理科, 技術, ものづくり, アート, 算数の頭文字)の表示をつくり, 理科だけでなく, 他のこととも関連して学べる工夫がなされている。(6年p. 170-171)

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 生活)

No.1

記 号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点					総 括	
	(1) 内容、程度、分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性、島根県の 実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との 関連についての工夫		(6) その他
A 東京 書籍	<ul style="list-style-type: none"> 「保護者の皆様へ」として、スタートカリキュラムの意義や内容についての説明がある。また、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の主な例が示されている。(Up. 1-13) 「やくそく」の場面が右上に例示しており、活動する際の注意事項がわかりやすくなっているだけでなく、生活の中でも生かせるようになっている。(Up. 41他) 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな花や野菜の成長過程がひと目でわかるような写真の掲載方法が工夫されているとともに、校庭や町の様子を季節で比較しながら繰り返し紹介することで、気付きの質を高め、学習を深めることができるように構成されている。(Up. 28-36, 下p. 22-23, 32-33) 	<ul style="list-style-type: none"> 「いきものずかん」「あきのおもちゃずかん」などがあり、児童の興味・関心にあわせて自ら調べることができるよう工夫されている。(Up. 58-59, 76-77) 上下巻とも、単元のはじめのページには、見開きで写真が掲載されているとともに、ダイナミックな活動写真が取り入れてあり、児童の興味・関心を引き出し、意欲を高めるように工夫されている。(Up. 15, 68) 	<ul style="list-style-type: none"> 右上に、学習内容に応じた活動の仕方や考え方などが掲載されており、児童が見通しをもちながら学びを深めることができるように工夫されている。(下p. 37, 85) 校外の様子を表している場面では、幼児・高齢者・外国人・障がいがある人などの多様な他者と協働して生活している姿が描かれている。(Up. 42, 下p. 60) 	<ul style="list-style-type: none"> 上下巻とも「かつどうべんりてちょう」が掲載されており、観察の仕方や道具の使い方、生活する上での注意事項等について、繰り返し見て参考にすることができる。(Up. 113, 下p. 103) 国語や算数で学習したことを生かす場面が示しており、他教科とのつながりを意識することができるよう工夫されている。(下p. 29, 51) 	<ul style="list-style-type: none"> 板書例や活動例が示され、教員向けに授業づくりのヒントが掲載されている。また、二次元バーコードが多く掲載されデジタルコンテンツが活用できる。(Up. 85, 下p. 82) 記録やまとめの例が多く掲載されており、児童が自分に合った方法を選んだり参考にしたりすることができるようになっている。(Up. 37, 下p. 98-99) 	<ul style="list-style-type: none"> 大判の教科書で、写真やイラスト、文字が分かりやすくなっている。 低学年の発達段階を考慮し、児童が学んだことを表現する場面で、多様な表現方法が掲載され、二年間で徐々に活動の質が高まるよう配慮されている。(Up. 21, 49, 下p. 79, 101)
B 大日 本区 書	<ul style="list-style-type: none"> 「きもちマーク」を記入することにより、児童自身が心の動きを表現することができる。満足感や達成感を味わうことができるように工夫されている。(Up. 17他) シンプルで次へのつながりがある大単元名になっているので、児童が学習への見通しと期待をもつことができるようになっている。(Up. 12-13, 下p. 1) 	<ul style="list-style-type: none"> 同じ場所の絵が季節を変えて描いてあり、比較して違いを見つけたり、自分の身の回りに当てはめたりすることができるように工夫されている。(Up. 48-49, 84-85, 下p. 26-27, 60-61) 「町のキラリ」として春と秋の町たんけんがつながるような単元構成になっている。(下p. 59-79) 	<ul style="list-style-type: none"> 「えがおでこんにちは」カード、「春見つけビンゴカード」は、教科書から切り取って活用でき、児童が学習活動に興味をもって取り組めるよう工夫されている。(Up. 16-17, 下p. 16-17) モノクロ写真を使用し、想像する楽しさ、実際の色を見て知る美しさを実感することを通して、意欲的に活動できるよう工夫されている。(Up. 82-83, 下p. 22-23) 	<ul style="list-style-type: none"> 動画を見て活動への意欲を高めたり、クイズで活動のきっかけをつくったりすることで、児童の思いや願いを体験に生かせるように工夫されている。(Up. 23, 65) 日本各地の祭りや行事を紹介することで、自分たちの地域の文化に対する興味・関心をもつことができるように工夫されている。(Up. 60, 81, 105, 下p. 4, 55) 	<ul style="list-style-type: none"> 上下巻とも「がくしゅうどうぐばこ」「Webがくしゅうどうぐばこ」が掲載されており、学び方や多くの資料を紹介することで、学習に活用することができる。(Up. 130, 下p. 114) SDGsをとりあげ、自分たちにできることがあることに気付かせ、考えるきっかけをつくる工夫をしている。(下p. 48-51) 	<ul style="list-style-type: none"> 低学年年りの探究のプロセスが分かりやすく表現され、活動の見通しをもつことができるように工夫されている。(Up. 10-11, 下p. 2-3) 「これからの自分」を考える活動を行うことで、自分の夢や未来を考えるキャリア教育につながるよう工夫されている。(下p. 110-113) 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書に直接書き込めるように「きもちマーク」「～したいな」のコーナーを設け、児童の思いを表現しやすくしている。(Up. 3, 34) 実生活でも活用できるよう、語彙を増やす工夫がされている。また、手紙や振り返りカードなどの表現活動に生かすよう工夫されている。(Up. 123, 下p. 43)
D 学 校 区 書	<ul style="list-style-type: none"> 「ものしりノート」に、草花遊びの方法や野菜の育て方などが具体的に数多く掲載されており、活動に生かせるようになっている。(Up. 54, 下p. 46) 上巻に「はじまるよしょうがっこう」を設け、小学校が安心できる場所だとわかるようにしたり、就学前施設との違いや共通点を感じたりするよう、スタートカリキュラムと関連させている。(Up. 2-11) 	<ul style="list-style-type: none"> 「まちたんけん」の単元がまとめて掲載されており、見通しをもって活動を計画することができる。(下p. 4-37) 「ありがとうがいっぱい」の単元では、家庭で教えてもらったことを友だちに伝え、さらに一人で取り組んで気付いたことを表現し、毎日の生活で実践するという学習の流れが、わかりやすく記載されている。(Up. 94-101) 	<ul style="list-style-type: none"> 植物等の写真がアップで掲載されており、自分で身の回りのように興味をもったり、実際のものと比較できたりするように工夫されている。(Up. 39, 60-61) 「生きものと友だち」の単元では、クイズ形式でイラストの中の名前を学ぶ仕掛けがあり、興味・関心をもって学ぶことができるように工夫されている。(下p. 60-61, 76-77) 	<ul style="list-style-type: none"> 季節の移り変わりの様子を感じるとともに、地域の伝統文化にふれ、自分たちのふるさとに気付くことができるよう配慮されている。(下p. 2-3, 18-21, 36-37) 「ふゆをたのしもう」の単元では、地域差を考慮し、雪が多い地方とそうでない地方との活動に分けたり、地域の実情に応じて活動できるように「風」と「雪や氷」を使った活動が紹介されたりしている。(Up. 106-113) 	<ul style="list-style-type: none"> 「もっと～したいな」では、専門家の話などを生かしながらさらに発展的な学習に取り組めるよう工夫されている。(下p. 74, 75) たねをとる活動と算数の学習を関連させたり、ダンゴムシの飼育・観察の活動と体育の学習を関連させたりする工夫がみられる。(Up. 43, 下p. 69) 	<ul style="list-style-type: none"> 上下巻とも、目次がカレンダー式になっているので、教員だけでなく、児童も、年間を見通しながら学習内容の関わりやつながりがわかるようになっている。(上下もくじ) 上巻の前半では、記録カードの具体例が多く掲載されており、学び始めの1年生にとって取り組みやすくなるよう工夫されている。(Up. 22-23) 	<ul style="list-style-type: none"> 巻末の「まなびかたずかん」では、学ぼうをつけるための「わざ」として多くの例が紹介されており、実際の場面で活用できるよう工夫されている。(Up. 125, 下p. 113) 上下巻を通して、児童と一緒に成長していくキャラクターに、気付きや評価などの観点を組み込んだストーリーが設定され、児童の成長や変容が明確になるよう工夫されている。(Up. 1, 下p. 1)
F 教 育 出 版	<ul style="list-style-type: none"> 「はじめのいっぽ」では、小学校生活の写真と入学前の生活とを結びつけて考えられるよう工夫されている。(Up. 4-8) コラム「ヒント」で五感をつかう、比べる見方を変える、結びつける、予想する、つなげるなど、学習活動のヒントになる言葉が提示されており、繰り返し使うことで学習の仕方が身につくように工夫されている。(Up. 27他) 	<ul style="list-style-type: none"> 思考ツールを取り入れた板書を例示したり順序をつけて考え、分類したりするなど、プログラミング的思考を取り入れた学習ができるように工夫されている。(Up. 77, 下p. 99) 生活科の教科目標を6つの力として整理し小単元ごとに特に発揮すると効果的な力をサイコロで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 生き物や木の実クイズを載せることで、児童が興味をもって調べ活動ができるように工夫されている。(Up. 69) 四季の変化がわかる町の様子イラストや季節の行事の写真が見開きで設けられており見つけたり比べたりする楽しさが味わえるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「わたしのまちの自まん」では、各地域の特色ある物が写真で紹介されており、自分の地域よさに目をむけることができるように工夫されている。(下p. 34-35) Web情報「まなびリンク」やICT機器の活用など、新しい学び方が提案されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「本から学ぼう」では単元に関する書籍が紹介され、図書館活用教育との関連が図られている。(Up. 125, 下p. 124) 小単元に、「学びのポケット」が紹介され巻末とあわせて他の教科との関連が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書全体を通して、単元の終わりに「ぐんぐんはしご」が登場し、キャラクターの言葉や位置を参考に、自己評価ができるよう工夫されている。 「はってん」コラムが設けられており中学年以降の学びへの興味を引き出す工夫がされている。(Up. 103, 下p. 9. 31. 43) 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元の流れが「はっけんロード」としてつながっており、主体的・対話的で深い学びへと導くよう工夫されている。 多様性を感じさせるような写真やイラストを使ったり、SDGsへの取り組みを取り上げたりして今日的な課題にも目を向けられるよう工夫されている。

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 生活)

No.2

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点						総 括
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性, 島根県の 実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との 関連についての工夫	(6) その他	
I 光 村 区 書 館	<ul style="list-style-type: none"> 「いちねんせいがんばるよ」では、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の10項目を具体的な場面のイラストで示し、幼児期から小学校への円滑なつながりができるよう工夫されている。 「学び方のヒント」には、つまづいたときや試行錯誤するとき大切に考える考え方や、活動、表現のバリエーションが示されており主体的、対話的で深い学びにつながるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> SDGsの17の目標と関連する単元に、低学年でも無理なく取り組める教材を掲載しており、SDGsについて考えるきっかけとなるよう配慮されている。 公共物や公共施設の利用を一つの単元で取り上げてあり、全員で同じ活動ができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「きせつのくらし」では、四季の移り変わりや町の様子の変化を絵や写真で見つけたり比べたりしながら、楽しめるよう工夫されている。 単元の導入のページに学習対象と子どもたちの写真をダイナミックに配置し、魅力的な出会いによって、活動への思いや願いをもてるように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> QRコードが種類毎に分かれており、どんな情報を見ることができのかが分かりやすくなるよう工夫されている。 「保護者の皆様へ」の欄を通して、家庭との連携が必要な場面で学習のねらいを保護者と共有できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の振り返りに「たのしいまいにちにつなげよう」や「もっとやってみよう」のコーナーがあり、体験したことを実生活でも取り入れられるよう工夫されている。 「ひろがるせいかつじてん」では、防災・安全、健康、SDGs、道具の使い方などが掲載されており、必要ときにいつでも確認できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 上巻末に、生き物図鑑「きせつのなかまたち」がついており、水や泥に強い加工を施すことで、切り離して野外でも活用できるよう工夫されている。 直接会わなくてもインタビューができる方法を多数紹介するページがあり、児童が調べ方を選択できるよう配慮されている。(下p. 78. 79) 	<ul style="list-style-type: none"> 導入・展開・ふり返りの構成が見通しやすく示されており、学習過程が見える写真と考えるためのヒントで、学びの深め方がわかるよう工夫されている。 ヨシタケシンスケさんのイラストやメッセージが随所にちりばめられ、子どもたちの興味を引き出すよう工夫されている。
K 新 興 出 版 社 啓 林 館	<ul style="list-style-type: none"> 上巻巻頭「すたあとぶつく」では、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえて、児童が安心して学校生活を始められるよう写真で分かりやすく示されている。 カードの例示がされており、入学当初から段階的に絵のみから文章量を増やす等、発達段階に応じた例となるように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の生活科の学びのプロセスを考慮した3段階で構成されており、活動の流れが児童にも分かりやすい点で優れている。 地域の店や公園などを訪問したり、利用したり、そこで働く人や利用する人とふれ合ったりする中で、出会った人々への憧れや感謝の気持ちをもつことができるよう工夫されている。(下p. 28-43. 76-87) 	<ul style="list-style-type: none"> 紙面右下にめくり言葉を設定し、児童の思いや願いが次の活動につながるよう工夫されている。 単元の導入に「わくわくタイム」というページを設け、写真やクイズなどで、児童の「やってみよう」という意欲が高まるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「びっくりずかん」や「デジタルたんけんブック」などで児童の学びをサポートできるよう工夫されている。 「春のまつり」として松江武者行列が紹介されており、島根県への関心を高めるよう工夫されている。(下p. 11) 	<ul style="list-style-type: none"> 他教科と関連がある活動に合科的・関連的な学習を示すマークが付いており、生活科と他教科等との連携を図ることで、指導の効果が高まるよう工夫されている。(上p. 60. 61) 「ひろがるきもち」のコーナーでは、どんなことを生活に活かしていこうかと思うのかを振り返ることができるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 下巻巻末に「ステップブック」を配置し、上巻のスタートブックと同様、小寸サイズにし、学びの入り口と出口が分かりやすい構成になるよう配慮されている。 紙面の適所に「学びのキーワード」として、見つける、比べる、たとえるなどの気付いたことを基に考えるための多様な学習活動の例を示し、気付きの質を高めることができるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元が「わくわく」(思いや願いをもつ)「いきいき」(活動や体験をする)、「ぐんぐん」(伝え合う・振り返る)の3段階構成になっており、活動の流れが児童にも分かりやすい点で優れている。 上巻の巻頭には「スタートブック」、下巻の巻末には「ステップブック」がついており幼児教育から中学年への円滑な接続が図られている点が優れている。

選定に必要な資料

(種目名 音楽)

No.1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性, 島根県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫	(6) その他	
F 教育出版	<p>・「まなびナビ」には思考力・判断力, 表現力の育成につながる発問例が掲載されており, 児童の気づきや思いを引き出し, 深い学びへとつなげる工夫がみられる。(2年p. 41)</p> <p>・「スキルアップ」や「目指せ楽器名人」では, 常時活動で継続的に即興的な表現や楽器の演奏技能を身につけられるよう工夫されている。(2年p. 6-7, 28-29)</p>	<p>・以前の学習を振り返るマークにより, 丁寧なステップアップを図り学習を積み上げることができ学びを深めている。(1年p. 55)</p> <p>・「学習マップ」は, 学年を通じて各題材で学習する内容を分かりやすく解説しており, 学習の見通しをもって取り組める形になっている。(各学年冒頭)</p>	<p>・折込を使ったワイドな誌面で, 歌詞の内容に忠実な写真を使い, 興味関心を持って学習できる工夫がされている。(5年p. 10-11)</p> <p>・「まなびリンク」のQRコードを読み取ることで, 奏法や解説動画, 音源等を児童自身で見ることができ, 興味関心を持って学習できる工夫がされている。(教科書各ページ)</p>	<p>・全校合唱として共通の楽曲が掲載されており, 低中高学年の発達段階に合わせた編成になっている。全校での合唱や活動に活用できるよう工夫されている。(6年p. 71-73)</p> <p>・6年「心と心をつなぐ音楽」など, SDGs, 震災, 感染症による影響などを取り上げ, 音楽と今日的な課題とつながり考える工夫がされている。(6年p. 46-47, 5年p. 65)</p>	<p>・「にっぽんのうたみんなのうた」では, 共通教材だけでなく歌い継いでいきたい楽曲が多数形成されており, 伝統と文化の尊重や郷土を愛する心を育むよう工夫されている。(各学年巻末)</p> <p>・全学年で「Short Time Learning」として英語, 算数の歌を取り上げ, 児童がそれらを身近に感じ関心をもって学習に取り組むきっかけを示す工夫がされている。(全学年各ページ)</p>	<p>・音楽づくりの内容が充実している。さらに「もっとあそぼう」では, 音楽を発展させる例が示され, 児童が創造性を発揮できるよう工夫されている。(6年p. 36-37)</p> <p>・巻末にある「音楽を表すいろいろな言葉」は, 学年が上がるごとに言葉が増え, さらに自分で見つけた言葉を書き込み増やすスペースもあり, 活用できる。</p>	<p>・巻末の楽器図鑑や折込, オーケストラの配置例, 実寸に近い鍵盤ハーモニカなど, 視覚的に理解するための工夫がされている点において優れている。(1年p. 34-39, 5年p. 33)</p> <p>・諸外国に伝わる音楽, 様々なジャンルの楽曲から教材が選択されており, 児童が楽しんで学習に取り組むことができるよう工夫されている。(6年p. 40-41, 54-55)</p>
H 教育芸術社	<p>・児童の作品例やワークシート例, グループ活動時の会話を想定した吹き出しが例示されており, 児童が表現に対して思いや意図をもったり, 演奏の良さを味わいながら聴いたりするために必要な情報が適切に示されている。(3年p. 34-35, 58-59)</p> <p>・「そだてよう」では, 常時活動の例が示され, 演奏技能を身につける活動につながる工夫がされている。(3年p. 49)</p>	<p>・一つの題材が, 複数領域の教材で構成されており, 音楽を形作っている要素を中心に, 関連付けて学べるように工夫されている。(4年p. 30-37)</p> <p>・歌唱領域について児童の発達の段階に合わせ, 斉唱, 交互唱, 輪唱, 二部合唱, 三部合唱へと段階を踏んだ学習構成がされている。(全学年各ページ, 1年p. 47, 4年p. 46-47, 6年p. 26-27)</p>	<p>・学習活動をピクトグラムで示し学びを可視化することで, 児童の主眼的な活動を引き出す工夫がされている。さらに活動内容の具体的な手立てを示すことで, 児童の気づきをサポートする工夫がみられる。(3年p. 37)</p> <p>・QRコードにより, 音楽づくりを試行錯誤して進めたり, 他サイトの資料を読んだりすることができ, 個別最適で深い学びとなるよう工夫されている。(2年p. 40-41, 3年p. 16-17)</p>	<p>・「音楽のもっている力や役割」として, 震災, 感染症による弊害などの今日的課題を意識し, 音楽に何ができるかという観点から考えることができる教材となっている。(6年p. 43)</p> <p>・裏表紙には, 各地の郷土芸能や祭りに取り組む小学生の写真を掲載し, 地域の文化や芸能に興味関心をもち親しみを感じられるような工夫が見られる。</p>	<p>・生活や社会と音楽との関わりについては, 低学年では身の回りの音の面白さに気づく活動, 中学年では地域の音楽への興味関心を育てる活動, 高学年では音楽に関わる権利や役割などを理解し見つけ直す活動へと, 系統的に学べるよう工夫されている。(1年p. 33, 4年p. 28-29, 6年p. 24-25)</p>	<p>・現在活躍している音楽に関わる仕事をしている方のエピソードや児童へのメッセージなどが掲載されており, 音楽を身近に感じる工夫がされている。(3年-6年口絵)</p> <p>・誌面デザインは白を基調とし, 題材ごとの色分けがしてある。UDフォントの使用やイラストの色調を工夫することで, 色覚特性をはじめすべての児童に見やすい誌面となるよう工夫されている。</p>	<p>・音楽を形づくっている要素を中心として, 歌唱, 器楽, 音楽づくり, 鑑賞の学習が関連しあえる題材構成がなされ, 学びのつながりや積み重ねが分かりやすい点において優れている。</p> <p>・QRコードで児童自ら学んだり, 思考・判断・表現につながるアドバイスをキャラクターがしたりすることで, 児童が主体的に学べる工夫がたくさんある点において優れている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

(種目名 図画工作)

No.1

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点					総 括	
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性, 島根県の 実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との 関連についての工夫	(6) その他	
C 開隆堂出版	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年と中・高学年で文字の大きさを変え、発達段階に配慮している。 ・目次の横にその活動内容と写真が掲載され、題材の内容を色とマークで分かりやすく表している。(全学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各題材が2ページ見開きで構成され、レイアウトも同じため、学習の流れがわかりやすい。 ・使った材料が次の活動で生かせる題材配列になっており、材料に慣れ親しみ、活用することができるように構成されている点で優れている。(1・2年上 p. 16-19) 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の導入で「はじめに」の動画を視聴することで、題材の内容やめあてが分かり、児童が興味をもって学習活動に取り組むことができる点で優れている。 ・「ひらめきショートチャレンジ」では、短時間で発想の方法を知り、造形的な発想の方法(見方や考え方)を学ぶことができる点で優れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出雲市の「一式かざり」など地域の行事や伝統工芸について紹介されており、身近な地域に着目することができる。(5・6年上 p. 57) ・身近なSDGsの活動や持続可能な社会について考えられる題材を設定している。(全学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「あわせて学ぼう」に、各教科との関連を具体的に示している。 ・社会とかかわる事例や取り組みを紹介するページとして「つながる造形」を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当該学年配当漢字にふりがなをつけたり、図に番号を付けたりしている。 ・工作の動き方について、紙面で示すとともに、より具体的にイメージがもてるよう動画でも示している。(1・2年下 p. 36-37) 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習を通して育てたい三つの力をキャラクターで表し、重点となるめあてに下線が引いてあるため、児童・指導者ともに活動の指針となる点で優れている。 ・デジタルコンテンツの充実が図られ、学習内容や学習に必要なシート等が掲載されており、指導者が活用しやすい工夫がされている。
L 日本教出版	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小のスムーズな接続を意識し、文字の量や大きさ、図・写真の提示の工夫や幼児期の経験を生かして取り組める五つの内容を設定している。(1・2年上 p. 7-17) ・高学年では、4ページ題材が設けられ、活動の過程や発想のヒントなどが丁寧に示され、多様な作品を掲載している。(5・6年上 p. 8-11, 5・6年下 p. 10-13, 42-45) 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材が見開きで構成され、左上に題材名と導入の言葉、学習のめあてがまとまりで示され、制作過程の様子から学習内容や児童の思考の流れを分かりやすく示している。(全学年) ・「図画工作をもっと楽しむためのページ」が設定され、題材と関連した資料が充実しており、新たな見方や考え方が広がる手立てにつながっている。(全学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材ごとのQRコードにより、全国の児童の作品例、つぶやきや工夫、360° から鑑賞できる作品が掲載されている点が優れている。 ・「図工のみかた」では児童の発想や構想、表現のヒントになる写真やイラストを掲載し、新たな見方や考え方が広がる手立てにつながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内美術館の作品や、自然の色として浜田市や隠岐の島町の土が掲載され、美術館への興味や郷土への関心につなげることができる。(5・6年上 p. 57, 下 p. 25) ・紙面の下段に、片付けやマナー等の記載だけでなく、安全面について記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科とのかかわりがページ右下に「つながる学び」として教科名を記載している。 ・新たな発想を広げる手立てとして、思考ツールやICTを用いた方法を提示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭と連携しながら進められるよう、資質・能力等について「保護者の方へ」のメッセージを掲載している。(1・2年上のみ巻末、その他は各教科書巻頭) ・アートカードの実践例が掲載されており、対話を通じた鑑賞活動の手引きになっている。(全学年の巻末) 	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての題材で、表現と鑑賞が一体的に学習できるよう構成されており、「学習の進め方」にも、表現と鑑賞を往還しながら教科の目標に沿って学習を進めていく流れを示している。 ・デジタルコンテンツの充実が図られ、児童の興味・関心が高まる内容や他教科との関連した内容も取り扱っている。

選定に必要な資料

(種目名 家庭)

No.1

記号	選定に必要な資料の観点					総括	
	(1) 内容、程度、分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性、島根県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫		(6) その他
A 東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> 「いつも確かめよう」に基礎的な技術などをまとめたり、リンクで関連ページを示したりなどの工夫がなされている。(p. 30-31) 1ページにたくさんの内容が盛り込まれており、知識を多く得ることができる。(p. 40-41, p. 60-61) 	<ul style="list-style-type: none"> ねらいが達成しやすいように学習活動に番号がつけてあり、児童が取り組みやすい構成になっている。 単元の振り返りを、「成長の記録」としてまとめて記入することができるようにページが工夫されている。(p.6-7) 	<ul style="list-style-type: none"> XチャートやWチャートなど「思考ツール」を取り入れることで、児童の思考を可視化することができ、児童同士の話合いが深まるように工夫がされている。(p.13, p. 37のQR) ページの横にイラスト付きの英単語があり、ページをめくるとその意味が日本語で示されており、児童の興味関心への配慮がなされている。(p. 13-14) 	<ul style="list-style-type: none"> 各教科の最初に「家庭科の窓」を提示することで、学習指導要領で示された家庭科の見方・考え方の中で、その単元の重点項目が分かりやすく示されている。(p. 12) 「夏休みわくわくチャレンジ」の特設コーナーで学んだことを生かして、家庭で実践できるように工夫されている。(p. 35, 101) 	<ul style="list-style-type: none"> 「日本の伝統」や「資料」で、知識を増やしたり見方を広げたりできるように工夫されている。(p. 18, 93) 「生活を変えるチャンス①～③」では学んだことを生かして、生活をどう変えたいのか、実践例をもとに4つの視点から取り組むことができるよう、工夫されている。(p. 65, 121, 134) 	<ul style="list-style-type: none"> QRコードの内容が言葉で示されていてわかりやすい。(p. 13) 太字で示された文字が強調され見えづらな点は、配慮が必要であると考えられる。 小口のつめの色や表示の仕方が、単元ごとに色分けされており、開きやすい工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> すべての単元において3つのステップで学習が進められるように配慮されている。 「生活を変えるチャンス」や「夏休みわくわくチャレンジ」など実生活に生かせる工夫がなされている。 「日本の伝統」や「資料」などが数多くページの中に盛り込まれており、工夫されている。
C 開隆堂出版	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な社会の実現を目指すSDGsの視点が教科書の各所にちりばめられ、特に6年生の最後の単元で堂は「わたしの約束」という形で自分の取り組みについて宣言するページが設けられ、工夫されている。(p. 135) 製作物や料理の技術レベルの難易度が★で示されており、児童が視覚的にわかりやすく、取り組みやすい工夫がなされている。(p. 44, 114, 120) 	<ul style="list-style-type: none"> 内容項目が20の題材に細かく分けて配列しており、単元ごとの学習内容が明確でわかりやすく構成されている点で優れている。 「学習のめあて」の提示の仕方が「1気づく・見つける」「2わかる・できる」「3生かす・深める」のというステップで示されており理解しやすい。また、めあてに対する振り返りも同じところでできる点が工夫されている。(p. 10など) 	<ul style="list-style-type: none"> ページの下部に「豆知識」として100以上の用語の解説などが示されており、児童の興味関心への工夫がなされている。(p. 8) 実習・制作の流れが単元のテーマカラーを使って横一列で提示されており、見やすいレイアウトになっている。児童が興味をもって学習を進めやすい配慮がなされている。(p. 14-15, p. 30-31) 	<ul style="list-style-type: none"> クローバーのキャラクターを使うことで、学習指導要領で示された家庭科の見方・考え方の4つの視点が意識できるように工夫されている。(p. 8) 47都道府県すべてを食文化やキャリアのテーマで取りあげ、島根県においては、伝統的な地域の料理として、「しじみじり」が紹介されていることにより、地域に目を向けることができる。(p. 57) 	<ul style="list-style-type: none"> 2年間の学習を中学校につなげられるようなページが設定され、中学校(家庭分野)の学習への見通しやイメージがもちやすくなっている。(p.136-137) 巻末にプログラミンや安全・防災に関するページが特設されており、学びを実生活に生かす工夫がなされている。(p. 140-152) 「生活の課題と実践例①～④」では、実生活の中の課題を5つのステップで問題解決できるように例を示すことで、取り組みやすい配慮がなされている。(p. 37, 80-83) 	<ul style="list-style-type: none"> 「キャリアインタビュー」が多数(約20名)掲載され、学んだことが今後の生き方につながるような工夫が優れている。(p. 138-139など) 裏表紙に野菜の切り方の例やスケール(cm)を載せたり、巻末に野菜などの切り方や実物大の大きさの目安を示したりするなど、児童の実態に配慮がなされている。(p. 149) 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの単元において「1気づく・見つける」「2わかる・できる」「3生かす・深める」のステップで学習を進め、めあてに対する振り返りまでできるように配慮されており優れている。 「生活の課題と実践」では、実生活の課題を学んだことを生かして、計画的に解決できるよう取り組みやすい配慮がなされている。 「キャリアインタビュー」「豆知識」など実生活で試したくなる工夫がなされている。

選 定 に 必 要 な 資 料 (種目名 保健) No.1

記 号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点					総 括	
	(1) 内容、程度、分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性、島根県の 実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との 関連についての工夫		(6) その他
A 東京書籍	<p>・保健の学習を始めるに当たって、どんな力がつくとよいかという2年間を通したゴールが示されており、どのように学習を進めていけばよいか見通しをもって取り組むのに適している。(3・4年p. 4-5, 6年p. 2)</p> <p>・導入の「気づく・見つける」や終末の「まとめる・生かす」のページが、内容の記載されているページと分かれています。授業で活用しやすいように配慮されています。</p>	<p>・導入の後に、大きく「学習の課題」が提示されており、めあてを意識できるよう工夫されています。</p> <p>・喫煙の学習で学んだことを他の人に説明する形でまとめが設定されており、相手意識をもち、表現意欲を高めるのに効果的です。(5・6年p. 63)</p>	<p>・各章のはじめの「気づく・見つける」では、写真やイラストを使って、経験を想起しやすい活動を取り入れ、児童が興味をもって学習に取り組めるよう工夫されています。</p> <p>・「実験」や「資料」では、写真が多く使われており、理解を助ける工夫がされています。</p>	<p>・飲酒や薬物乱用を防ぐため、20才の自分へのメッセージや決意を署名するなど、健康への自律的な取組を促す工夫がされています。(5・6年p. 67, 71)</p> <p>・だれもが安心して生活できるための「支え合いマーク」に加え、バスや電車の乗り方についての記載があり、普段利用しない児童が知るきっかけとなっている。(5・6年p. 77)</p>	<p>・巻末の「資料」の中で「スキル」を紹介し、生活に生かすことができるよう工夫されています。</p> <p>・「犯罪被害の防止」では、実際に作られた安全マップを紹介して、学活や総合の学習における活動の可能性を示し、教科横断的な学習を行うのに適した構成になっている。(5・6年p. 35)</p>	<p>・各章の終末には、「まとめる・生かす」の欄が設けられており、学習内容の定着を助けたり、自分自身を振り返り、これからの生活に生かしたりできるような工夫がされています。</p> <p>・登場人物のイラストが、国籍・障がい等において様々であったり、子どもだけでなく専門家を含めた様々な大人が登場したりしており、共生社会実現への意欲を高めるのに効果的です。</p>	<p>・各章の始めに単元のスタートとゴールが明確に示されており、児童が見通しをもって主体的に学びに向えるように工夫されています。</p> <p>・登場してくる人物や、誰もが安心して生活できる社会など、「多様性の尊重」に関して、配慮されている。</p>
B 大日本図書	<p>・字が大きく、レイアウトが工夫されているため、読みやすく、学びやすい。</p> <p>・1時間の学習内容が関連する資料とともに、見開き1ページ、多くても2ページにまとめられており、学ぶことが精選されている点で特に優れている。</p>	<p>・「心の健康」では、一人でやるストレッチだけでなく、二人で行うものも紹介しており、友達と協同して行うのに適した構成になっている。(5・6年p. 8-9)</p> <p>・今の子ども達には馴染みのない、公衆電話の使い方について紹介し、緊急の時に使用できるように配慮している。(5・6年p. 38)</p>	<p>・「病気の予防」では、フローチャート式のアンケートを用いて、今の自分にあつた課題意識しながら学習を進められるように工夫されている。(5・6年p. 41)</p> <p>・特に3・4年では、各単元で「じっけん」をたくさん示しており、発達段階に合った学習への関心を引き出す工夫がされている。</p>	<p>・保健とSDGsとの関わりを示し、世界に視野を広げられるよう工夫されている。(3・4年p. 43, 5・6年p. 66-67)</p> <p>・健康であることと夢や目標との関連を示し、保健の学習の必要性を感じるように工夫されている点で優れている。(3・4年p. 6, 5・6年p. 7)</p> <p>・島根県の死因率1位であるがんの予防として、がん検診を取り上げ、予防の大切さについて効果的な指導ができる。(5・6年p. 62)</p>	<p>・各章の「家・地いき」で保健」では、クイズを作ったり、目標を立てたりして、家庭・地域でも学習内容を生かした取組ができるように工夫されている。</p> <p>・体育の「体ほぐしの学習」との関連で、いくつかの例を紹介している。(5・6年p. 18)</p> <p>・5・6年では、中学校の保健体育の学習との関連を示し、今後の学習への見通しをもち、学びを広げるために効果的です。(5・6年p. 62-63)</p>	<p>・緊急の連絡ダイヤルやSOSダイヤルなどのカードを、切り取って、持ち歩いたり、貼ったりして活用できるように工夫されている。</p> <p>・「体の発育・発達」では、補足として異性だけでなく、同性に対して気になるなどの個人差があることに触れるなどしてSOGI(性的指向と性自認)への配慮がある。(3・4年p. 34, 39)</p>	<p>・精選された内容が分かりやすく示されており、学習すべきことが明確である。そのため学習を深めたり、学習内容を定着させたりするのに効果的な構成となっている点で特に優れている。</p> <p>・健康と将来の夢や目標を関連付けたり、単元で今後の生活での活用を促すまとめ欄を設けたりしており、キャリア教育の視点も踏まえ、より良い自分の実現への意欲を高めている点で優れている。</p>
P 大修館書店	<p>・イラストが大きく示されており、説明も短い文章で簡潔にまとめられているので、読み取りやすく、学びやすくなっている。</p> <p>・「課題をつかもう」では、1場面につき1つのイラストでイメージしやすく工夫されており、課題を的確に捉えることができるようになっている。</p>	<p>・「1. 課題・見通し」「2. 3つの活動」「3. まとめ」と3つのステップで構成されており、学習をスムーズに進めることができる構成になっている。</p> <p>・「考えよう」や「まとめ」では、「自分の考え→他者の意見を聞いての気づき」という順で記入欄が設けられており、学び合いによって考えを深めることができるような工夫がされている。</p>	<p>・各章の目次ページでは著名人との対話を載せることで、関心をもって学習を始められるように工夫されている。</p> <p>・学習の最後には、「ほけんクイズにトライ!」で学習を楽しく振り返ることができるよう工夫されている。</p>	<p>・「大切なけんこう」では、運動だけでなく、毎日の生活の中で体を動かす例を具体的に挙げ、健康への取り組みを促す工夫がされている。(3・4年p. 17)</p> <p>・「トラのまき」という合い言葉を示し、近年急増しているインターネットによる犯罪被害を防ぐための注意点を分かりやすく伝える工夫がされている。(5・6年p. 37)</p>	<p>・巻頭で、まちのイラストや実際に起こったニュースを取り上げ、身の回りの事柄と健康や安全の関連について意識できるよう工夫がされている。</p> <p>・「体育の窓」では、運動の紹介やスポーツ選手へのインタビューを掲載し、体育の学習と関連付けながら、学びを深められる工夫がされている。</p> <p>・「思春期の体の変化」では、国語の詩を載せ、違いを認め合うことの大切さがより強調されている。(3・4年p. 37)</p>	<p>・「タブレットを使って楽しく学ぼう!」では、インターネットを使って学習方法や、コンテンツ紹介などが載せてあり、家でも学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>・AED使用の有無による生存率を表したグラフや胸骨圧迫やAED使用の方法について資料を掲載しており、実践に繋がるような工夫がなされている。(5・6年p. 40-41)</p>	<p>・学習の導入に著名人との対話を用いたり、学習の終末に自分でQRコードを読み取ってできるクイズを設けたりするなど、単元を通して、児童が興味・関心をもちながら学習に臨めるように工夫されている。</p> <p>・1人1台端末環境に合わせ、使用できるコンテンツについて巻頭に丁寧な説明を記載するなど、児童がICTを様々な場面で活用できるように工夫されている。</p>
M 文教社	<p>・写真やグラフ等、多様な資料が活用方法とともに分かりやすく提示されており、児童の思考を深められるよう工夫されている。</p> <p>・心と体の関わり合いについて、具体例が数多く示されており、児童が心と体が影響し合うことを自己の経験と関連付けながら理解できるように工夫されている(5・6年p. 8-10)</p>	<p>・学習展開が「本時のmenu」の流れで統一されており、児童が見通しをもって学習を進めるのに効果的な構成が組まれている。</p> <p>・学習の終末に「もう一歩先の自分へ」欄が設定されており、児童が学習内容を今後の生活に生かしていけるような構成を工夫している。</p>	<p>・地域での事故発生について、多様な視点からグラフも交えた多様な情報を示し、児童が事故発生の原因について興味をもてるよう工夫されている。(5・6年p. 32)</p> <p>・自分の成長の様子をイメージしやすい写真が掲載され、自己の体の変化について関心をもてるよう工夫されている。(3・4年p. 20-23)</p>	<p>・自助、共助、公助についてチェックシートを含めた多様な資料とともに取り上げ、児童が地域の減災のためにできることを主体的に考えられるよう工夫されている。(5・6年p. 42-43)</p> <p>・生活習慣病と現在の生活との関連を示し、児童が予防のために今自分ができることについて考えられるよう配慮されている。(5・6年p. 58-59)</p>	<p>・体よりよい発育と栄養バランスについて「栄養3・3運動」を取り上げ、食育や翌年の家庭科で学習する内容との関連を図った構成が工夫されている。(3・4年p. 34)</p> <p>・「もっと考えよう課」コーナーや「Episode」コーナーで発展的な内容に触れ、実生活との関連を児童が意識できるように構成の工夫がなされている。</p>	<p>・地域の保健活動の核となる保健所についての資料を取り上げ、保健所の果たす役割について理解を深められるよう配慮されている。(5・6年p. 80)</p> <p>・交通事故の発生について、全国及び都道府県別データを資料提示し、島根県と他県の比較を通して関心を高められるよう工夫している。(5・6年p. 26)</p>	<p>・幅広い視点からの多様な資料が提示されており学習内容を今後の生活に広げていけるよう構成の工夫がなされている。</p> <p>・学習内容について、実際の生活の中での取組や対処方法が具体的な例で多数示され、児童の実践意欲を高めるために効果的です。</p>

選定に必要な資料

(種目名 保健)

No.2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性, 島根県の 実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との 関連についての工夫	(6) その他	
N 光 文 書 院	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題の解決につながる資料が充実している。 危険予測の活動が授業の導入部に取り入れられ、児童が実生活と関連付けながら思考できるような構成が工夫されている。(5・6年p. 23-26) 	<ul style="list-style-type: none"> 1時間の授業の流れをキーワードで明確に定め、児童が見通しをもって学習できるよう配慮がなされている。 単元の終わりに「学習のまとめ」のページが設けられ、学習を効果的に振り返り、学習を定着させるための工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の初めに、学習内容と日常生活を関連付けた4コマ漫画を取り入れ、単元の学習に関心をもって入ることができるよう配慮されている。 スポーツ障害や睡眠、自転車の安全な乗り方等、実生活との関連が深い事柄を学習内容に関連付けて取り上げ、関心を高められるよう配慮されている。(5・6年p. 28, 3・4年p. 38-39) 	<ul style="list-style-type: none"> ネットトラブルや依存等を学習内容と関連付けて取り上げ、ネットの危険性やよりよい付き合い方について考えられるよう工夫している。(5・6年p. 34, 61, 3・4年 p. 15) 不安や悩みへの対処について悩み相談先、インタビューなどの資料を取り上げ、多様な対処方法に気づけるよう配慮している。(5・6年p. 16-19) 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症の予防について、理科の学習や新型コロナウイルス感染症対策と関連付けた資料を示し、実生活や他教科との関連を図れるよう工夫している。(5・6年p. 45-47) 手の洗い方や衣服の清潔について、実験の写真を資料に用いて、実生活で体や衣服を清潔に保つことの大切さが児童に効果的に伝わる工夫をしている。(3・4年p. 16-17) 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭に作家やスポーツ選手の健康に関するメッセージを掲載し、「体」や「健康」について幅広い視点で捉え、興味をもつことができるよう配慮している。 「さらに広げよう」「深めよう」のコーナーで発展的な内容について幅広く取り上げ、興味に応じて資料集的に活用できるよう構成が工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 1時間の流れが明確に示されていることに加え、課題解決につながる資料が効果的に配置されているので、見通しをもって授業を展開するのに適している。 今日的な課題や児童の興味関心に沿う内容の資料が充実しており、発展的学習の充実を効果的に図れるよう配慮されている。
0 学 研	<ul style="list-style-type: none"> 体の清潔について、手の洗い方の手順や多様な実験の様子が資料提示されており、児童が体を清潔に保つ重要性に気づき、実践意欲を高められるよう配慮されている。(3・4年p. 17-19) 不安や悩みの対処について、多様な具体例や対処方法が示され、児童が学習内容を実生活の中で活用しやすいよう工夫されている。(5・6年p. 19-23) 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとに学習目標や単元の流れが示され、1時間毎の学習の進め方も統一されているため、見通しをもって学習を進めるのに適した構成になっている。 学習の終末に学習のまとめページが設定されて、「ふり返る」「伝える」「つなぐ」の視点で学習内容の定着や実生活での実践を促す工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 1日の生活の仕方について、1日の体温リズムやタブレットの使い方等について資料を提示し、具体的に気を付ける点について関心をもてるよう配慮されている。(3・4年p. 24, 48) 喫煙の害について、喫煙所や喫煙禁止の看板の写真を資料提示し、制限をする理由から興味をもって学習を始められるよう工夫されている。(5・6年p. 66-67) 	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害や緊急事態への対処について、多様な資料を提示して、避難方法や日々の備え方について具体的に考えられるよう工夫されている。(5・6年p. 44-45) 地域の保健活動について、多様な例やインタビューを紹介しており、児童が興味をもって調べ、学習を進められるよう工夫された構成になっている。(5・6年p. 78-81) 	<ul style="list-style-type: none"> 各章のとびらページに「つなぐ」リンクが示され、各単元の学習内容と他教科の学習との関連について児童が興味をもてるよう工夫されている。 胸骨圧迫やAEDの使用について取り上げ、学習を実生活での活用につなげられるよう配慮されている。(5・6年p. 46-47) 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書中に、書き込み欄が豊富に設けられており、児童が自分の考えをもって学習を進めるのに効果的な構成になっている。 「ほけんのはこ」コーナーで多様な発展的資料を取り上げて、児童の実践力を高める工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元の流れが明確に示され、授業の流れも統一されており、児童が自分の考えをもとに学習内容を定着させるのに効果的な構成となっている。 生活と関連付けた資料の豊富な提示や、単元ごとの「明日につなぐ」欄の設定など、学習内容を実生活に生かしていけるよう工夫された構成となっている。

選定に必要な資料

(種目名 英語)

No.1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	(1) 内容、程度、分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性、島根県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫	(6) その他	
A 東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・取り扱う内容が、2年間を通して、自分→身近→日本→世界(5年:「日本でつながるわたしたち」→6年:「世界でつながるわたしたち」)というように発達段階に応じた広がりのあるテーマ設定にしている点が工夫されている。 ・各学年とも8Unitで構成されており、総ページ数は96ページである。 ・各ページあたりの分量が、豊富である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各Unitとも見開き4パートの一貫した構成になっており、単元の構成が分かりやすくなっている。 ・Let's Read and WriteをYour Turnのページに直接書き込むことができるよう改善されている。また、簡単なふり返りを直接書き残すことができるようになっている。 ・ページ下にSmall TalkやSounds and Lettersを設けて、帯活動につなげたり、関連したページを探したりしやすいよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末コミュニケーションカードが後ろについており、各単元のゴールが明確で、児童がやりとりを想起しやすいように工夫されている。 ・Over the Horizonでは外国や日本の文化や行事が紹介され、QRコンテンツが充実し児童の興味関心を引くよう工夫されている。また映像にあったものを自分でMy Picture Dictionaryを使って調べて書くことができる工夫がしてある点で優れている。(5年p. 68) 	<ul style="list-style-type: none"> ・My Picture Dictionaryでは、個別最適な学びに適した構成になっている。また、分かりやすいイラストや絵で単語の意味が分かるように工夫されている。 ・Enjoy CommunicationではYour Goalに向けて、既習表現を確認し、それらをもとにスモールステップで会話の内容を広げられるよう工夫されている。(5年p. 12-13) 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科や社会科等と関連した内容がとりあげられ実生活と結びやすい工夫されている。(5年p. 50, 6年p. 50) ・単元最初のページにどの教科と関連付けられているか一目でわかるようマークがついているので他教科とも関連した効果的な指導ができる。 ・障がいの有無や、国籍に関わらず、多様な価値観を受け入れることができるよう工夫されている。(5年p. 67, 86) 	<ul style="list-style-type: none"> ・QRコードからDigital Mapへアクセスでき、日本や世界の名所や名物を調べたり、紹介する活動で使用したりすることができるよう工夫されている。 ・チャンツが5・6年ともに同じキャラクターで親しみやすく、歌詞をリズムに合わせてまねしてリピートしやすい点が優れている。 ・教科書内に書くスペースが豊富にあるため、活動しながら確認できるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の各Unitとも①単元の内容に慣れ親しむ→②学習の定着を図る→③コミュニケーションを楽しむ→④世界の文化を知る、という学習の流れが分かりやすい構成になっている。スモールステップで慣れ親しんだ英語を使ってコミュニケーションを図ることができる点で優れている。 ・アプローチを変えながら、スパイラルに活動が配置されており、確実な言語の定着を図ることができる構成になっている点が優れている。
C 開隆堂出版	<ul style="list-style-type: none"> ・5, 6年生ともにLesson数は8つ、128ページで、各Lessonで6～8時間使う構成になっている。また、「レッスンの終わり」にAround the WorldやStory Timeなどのページもある。 ・CAN-DOチェックで自分の学習の頑張りを振り返ったり、単元で学習する内容に見通しを持たせたりする工夫がされている。(5年p. 128, 6年p. 128) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ページの両端に、単元の中の何時間目の学習を行っているのかが明示されており、活動内容が分かりやすいよう工夫されている。 ・見開きごとに「学習のめあて」が明示されており、子どもと指導者がめざす姿を共有しながら、学習に取り組めるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Let's playでは英語に慣れ親しむための活動が盛り込まれており、クイズやゲームを通して楽しく学べるよう工夫されている。 ・教科書にストーリー性があり、児童が興味をもって自然に単元の内容へと入り込めるよう工夫がされている。 ・Story Timeでは日本の名所や名産が紹介されており児童が自分の国に興味をもって考えたり、良いところを伝えたりするきっかけ作りとして優れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Sounds and Lettersでは、アルファベットやフォニックスのページがまとめてあることにより、児童が学びの連続性を感じることができるように工夫されている。(5年p. 112-119, 6年p. 112-119) ・Around the WorldやOur World, 各単元のLet's Watch and Thinkでは世界の生活や文化などを紹介し、異文化への理解を深め、自他を尊重する態度を養えるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・LessonごとにSDGsについて日本の取り組み例を挙げており、より身近に感じ、考えるきっかけになるよう工夫されている。(6年Story Time) ・評価する領域と観点や他教科との関連がマークで示されており一目で確認することができるよう工夫されている。(5年p. 15, 6年p. 15) 	<ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットの書き方の表示がわかりやすく工夫されている。 ・別冊が各学年に1冊ずつついており、辞書の代わりに使うことができるよう工夫されている。 ・アルファベットを書くスペースや幅が狭い箇所が多いので配慮がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主な登場人物が紹介されており、各Lessonで登場して活動することで、児童の興味関心が引きつけられるように工夫されている。 ・聞くことから話すこと、そして読むこと、書くことの順に並べられ、スモールステップを意図した構成になっている。 ・指導者の裁量で活動の内容や単元のゴールの活動を定められる点が優れている。(5年p. 21)
E 三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年7つのLessonがあり、LessonはSTEPの位置づけになっている。それとは別に、HOPとJUMPのページがあるようになっている。 ・5年生のはじめのLessonで誕生日(月と序数)の英語を習得する必要がある、負担が大きくなっている点を配慮してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5, 6年生ともに3つのUnitがある。各Unitは自らゴール設定するHOP、語句や表現を身につけるSTEP、まとめの活動を行うJUMPで構成され、HOP, STEPで習得した内容をJUMPの活動で生かす構成になっている。 ・HOPとSTEPとJUMPの中で、どの段階の学習を行っているのか、右上に書いてあるページが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童にとってなじみ深い有名人が用いられており、興味関心が高められるよう工夫されている。(5年p. 40) ・Lessonの最初の見開きページには英単語付きのイラストが用いられており、絵探しゲームや英単語とイラストをマッチして視覚的に楽しめるよう工夫されている。(5年p. 64-65) ・Unit1から誕生日(序数)が入って難しく感じやすいので、最初のスタートでの学習について配慮がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2年間を通して使う別冊がついており、辞書の代わりに使うことができるよう工夫されている。 ・各学年の巻末「英語でこんなことができた!」では、簡易的なCAN-DOリストが示され、具体的にその学年で身に着けた内容が振り替えられるように工夫されている。 ・ABC Fun Bookでは、アルファベットの大・小文字やLessonを通して慣れ親しんだ語句を扱い、スモールステップで文字を習得できるよう工夫されている。(5年p. 62) 	<ul style="list-style-type: none"> ・Tryでは、一日の生活や道案内等、生活に密着した内容を取り扱っており実生活と結び付けてコミュニケーションが図れるよう工夫されている。(5年p. 76, 6年p. 36, 76) ・将来の職業や中学校でしてみたいことなどキャリア教育へつながる視点が入っており工夫されている。(6年. 90-91, 100-101) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ABC Fun Bookでは、単語の品詞に関するパートがあり、中学校へのスムーズな接続となるよう配慮されている。(6年p. 52, 102) ・「世界のおはなし」では、児童が聞いたことのある物語を取り上げることで負担感を軽減し、達成感を感じられるよう工夫されている。(5年p. 39, 6年p. 39) 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が主体的に英語表現を使って活動できるように、単元構成が工夫されている。 ・3つのUnitがあることから、3学期制に対応しやすいようになっている。 ・アプローチを変えながら、スパイラルに活動が配置されており、確実な言語材料の定着を図ることができる構成になっている。

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点					
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性, 島根県の 実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との 関連についての工夫	(6) その他
F 教育出版	<ul style="list-style-type: none"> 5年生はLessonが9つ(116ページ)で, 6年生はLessonが8つ(108ページ)となっており, 5年と6年でLessonの数の違いがある。 Let's Listenのページが多く, 分量も児童の負担にならないよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各 Lesson が Let's Watchで始まり, いろいろな学習活動に取り組んだ後, 最後に Final Activityを行う構成となるよう配慮されている。 Lessonごとに, 目指す姿, 振り返りを記入する欄が設けられており, 学習にどう取り組み, どのような力を身に付けたいかイメージをもちながら学習に取り組めるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「知らない英語の言葉に出会ったら」では, 和英辞典の使い方が紹介されており, 発展的な学習につながるよう工夫されている。(6年p. 99) 5年は都道府県, 6年では世界の名所・名物マップを参考に学年に応じた内容で児童の興味や関心を高めるための工夫がなされている。(5年p. 66-69, 6年p. 56-59) 切り取り線のワークシートや活動シールなど端末教材が充実しており主体的に活動をしたり, 児童の意欲を高めたりするための工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元末にReviewとして慣れ親しんだ語句を確認し, 単元の振り返りを記入したり, Final Activityのカード裏には活動の振り返りができる欄があったりと, 児童が自己評価しやすいよう工夫されている。また, 教師にとっても評価材料として活用しやすい。 Sounds and Lettersでは, 日本人が苦手意識をもちやすいものに特化して効果的な指導ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> なじみのある絵本「お手紙」が用いられており, 児童にとって親しみやすい工夫がなされている。(6年p. 66-67) 社会科の地図記号が用いられており, 英語へとつなげることができるよう工夫されている。(5年p. 94) Let's Look at the Worldでは世界の言語や文化に触れることができたり, SDGsについて考えたりできるよう工夫されている。(5年p. 41, 87, 6年p. 41, 98) 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳や国語で扱った教材を素材にし, 読むことと書くことへの負担感を軽減し, 達成感を感じられるように工夫されている。 Let's Listenのページが充実しており, 聞き取りに関して確かな力が身に付けられるように工夫されている。 ゴールの活動にワークシートを使用することで, 児童が自分の学びを実感でき, 達成感と表現意欲を高められるよう工夫されている。(6年巻末)
I 光村図書出版	<ul style="list-style-type: none"> 5, 6年生ともにUnit数は8つとなっており, それとは別に「世界の友達」とYou can do it!のまとめページが3つあり, 学習のまとめが分かるようになっている。 「5(6)年生でできるようになること」では, 領域ごとに学習したことが確認できるよう工夫されている。(全学年p. 8-9) 	<ul style="list-style-type: none"> 各Unitが①Hop→②Step1→③Step2→④Jump!で見開きごとに統一されており, ゴールまでの流れが見えるUnit構成になっている。 1ページあたりの情報量が多くなるようにしてあり, 丁寧な学習を行うのに適した構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> Let's watch and thinkや「世界の友達」では, 多様な文化や価値観に触れられるよう工夫されている。(6年p. 20, 40) 活動のモデルが示されており, イメージをもって活動に取り組むことができるよう工夫されている。(5年p. 23, 48) イラストに統一性がなく, キャラクターについて工夫が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 各学年のLet's Start1で, 外国語学習で大切なことについて考えるページがあり, コミュニケーション能力の育成を図ることができる内容となっている。 言語活動例のPlus Oneでは, 既習表現を活用し, 会話を続けるアイデアが示されている。 巻末にPicture Dictionaryがつけられており, 使いたい語彙を探し, 話したり書いたりする際に役立つ内容となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> SDGsについて考える内容が含まれている。(5年p. 42, 6年p. 58) 理科の食物連鎖についてや, 日本語と英語の違い等, 他教科で学んだことを英語でも生かせるよう工夫されている。(5年p. 66, 6年p. 55) 	<ul style="list-style-type: none"> All About Meのシートでは, 年間を通して学習した内容を振り返りやすく, 児童が達成感を感じられるよう工夫されていると同時に, 次年度にも活用できるよう工夫されている。 各unitが終わるごとに最終ページのシートに記入することで1年を通して自分の学習の軌跡が分かるよう工夫されている。(5年p. 111, 6年p. 111) 教科書のはじめにコミュニケーションを行う上で大切にしたいSmile, Eye Contact, Clear Voice, Responseの4つの観点が示してあることで, コミュニケーションの素地を身に付けやすいよう工夫されている。 単元の最初のページに最終ゴールとそれぞれの時間の主活動が明記され, 各単元の見通しがもてるよう工夫されている。
K 新興出版社啓林館	<ul style="list-style-type: none"> 5, 6年生ともにUnit数は8つとなっており, それとは別にREVIEW(復習)等のページがあることが工夫されている。 活動が概ね精選されており, 1時間で指導する内容も余裕をもって扱える分量になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各Unitが①とびら→②Step1, 2→③Step3→④Look BackとDid you know?で構成されており内容が一目で分かるよう工夫されている。 学習の見通しがもてるよう, 各Unitの始めにGOALとSTEPのめあてが提示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 猫のキャラクターが随所に登場しメッセージを伝えることで児童の興味や関心を高める工夫がされている。(5年p. 19-20) 分かりやすいイラストでの三択の単語クイズがあり, 単語の定着を図ることができるよう工夫されている。 Did you know?では異文化情報を扱い, 児童の興味関心を高められるよう工夫されている。(5年p. 34) 	<ul style="list-style-type: none"> 巻末にある付録シート「会話を楽しむフレーズ集」を活用することで, 年間を通してコミュニケーション能力を育成する工夫がされている。 Challengeでは, 単元で学んだことを生かしながら, 知りたい情報を取り出すskimming能力を養うような発展的な課題があり, 児童が主体的な学びに向かえるよう工夫されている。 	<ul style="list-style-type: none"> SDGsについて学んだり各教科での学びを生かしながら, より興味をもったりして活動できるよう工夫されている。(5年p. 73, 102-103) ユニバーサルデザインについて扱っており, 自分たちの住む町についても目を向けることができるよう工夫されている。(6年p. 36-44) 	<ul style="list-style-type: none"> QRコードから, そのページで使える単語や歌, 単語練習をすることができるよう工夫されている。 文字の名前読みと形を識別して書くことを学び, 音読みについて学べるよう, 各単元の最後にLet's Read and Writeが設定されている。 活動が概ね精選されており, 1時間で指導する内容も余裕をもって扱える分量になっている。 文字の名前読みと形を識別して書くことを学び, 音読みについて学べるよう, 各単元の最後にLet's Read and Writeが設定されている。

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	(1) 内容、程度、分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性、島根県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫	(6) その他	
A 東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> 文字が大きくはつきりして見やすい。また、フォントをはじめ、ユニバーサルデザインを取り入れ、使いやすさへの配慮がある。教材一覧表の「関係するテーマ」にスタートカリキュラムが明記されており、幼児期の教育との接続に配慮されている。(1年p. 142) 	<ul style="list-style-type: none"> いじめ防止にかかわる「いじめ」「いのち」「じぶん」という3つのユニットで構成し、全学年同時期に配当されており、学校全体でいじめ防止や安全でよりよい生活の実現に向けた工夫がされている点で優れている。 伝統や文化、伝統芸能について、郷土愛につながる構成で扱っており、身近な地域へと興味を広げて学習できるよう工夫されている。(3年p. 20, 152) シンプルなページ構成で使いやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> デジタルコンテンツが充実しており、QRコードを読み込むと全ての教材において「ろうどく」「スライドショー」「デジタルノート」が活用でき、関心を高め、学びやすい点が優れている。 写真が美しく教材によっては、見開きでダイナミックな写真を用いて視覚的な気付きを促したり、資料内容を分かりやすくしたりして、児童の心を揺さぶる工夫がされている。(1年p. 16, 130, 4年p. 144) 	<ul style="list-style-type: none"> 6年「愛華さんからメッセージ」では、島根県出身の坪田さんの本が教材化され身近な存在として興味を高めている。(6年p. 104) 「いじめ」「情報モラル」「SDGs」など時代に合った課題をテーマとして取り上げ、段階的に道徳性を育む工夫がされている。(5年P. 58)さらに「いじめ」は「直接的、間接的、コラム」をユニット化し、いじめ防止に向けて多面的に繰り返し考えられるよう工夫されている。(4年p. 38-44) 	<ul style="list-style-type: none"> 教材末の「つながる・広がる」では、他教科との関連を明示し、発展的な学習や実生活に生かしやすい工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に思考ツールの紹介があり、4年生以上には、心情円が附属している。思考の変化を可視化し、多様な見方・考え方につながる活発な話し合いに向けた工夫がされている。 学習を振り返るアンケートを児童の端末に配信し、データを蓄積、成長の様子を見取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「いじめ」について、直接的な資料、間接的な資料、コラムをユニット化し、さらに「いのち」「じぶん」について考える教材が明確に配当され、年間を通していじめ防止に向けた学びができるように構成されている点で優れている。 デジタルコンテンツが充実し、視聴覚教材を活用した授業展開が可能となり、学びやすさや個別最適な学びに向けた配慮について特に優れている。 「心のメーター」や「心情円」など、自分の考えを視覚的に表現する付録があり、話し合いを活性化させる点で優れている。
F 教育出版	<ul style="list-style-type: none"> 内容項目をおさえられる本教材30本と補充教材5本が掲載されており、学校や児童の実態に合わせたカリキュラム作成がしやすい。 特に大切にしているテーマを、全学年で「いじめ」「情報」を取り上げ、それに加え低学年では「いのち」、中学年では「日本・世界のよさ」、5年生では「自然」「認め合う社会」が加わる。さらに6年では5年のテーマに加え「感謝」が取り上げられ、発達段階に応じたテーマ構成をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年が上がるにつれて先人などの人物を取り上げた教材が増え、6年では9つとなっており、自らを高めようとする意欲を培うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> すべての教材においてデジタルコンテンツの「学びリンク」がついており、教材の理解を助けたり学習を広げたりできる。 高学年では、教材文中の難解語句の意味が下欄に示されており、児童の理解を助ける。 	<ul style="list-style-type: none"> モラルスキルトレーニングを取り入れた教材が設定しており、体験的な学習から道徳的価値への理解を深められる工夫がみられる。(4年p. 44) LGBTQについて考えることができる教材を設け、他者理解を促す工夫がされている。(3年p. 124) 	<ul style="list-style-type: none"> 「学習内容一覧表に「他の教科・領域との関連」「SDGsとの関連」がわかりやすく明記されている。(4年p. 160) 	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教材では、児童が拡大や書き込みができる学習支援機能が充実している。 各教材の最後に「学びチェック」があり、毎時間学習の振り返りが簡単にできる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学年が上がるにつれて先人などの人物を取り上げた教材が増え、6年では9つとなっており、自らを高めようとする意欲を培うことができる。 モラルスキルトレーニングを取り入れた教材が設定しており、体験的な学習から道徳的価値への理解を深められる工夫が見られる。
I 光村図書	<ul style="list-style-type: none"> 教科書のサイズが小さく、児童が扱いやすいよう配慮がされている。 先人や著名人をバランスよく取り上げ、よりよく生きるための喜びや勇気を感じられる教材が配置されている。(5年p. 16, 115) 	<ul style="list-style-type: none"> 1年間の学びを見通して、時期を考慮しながら「人とかかわり」「社会とかかわり」「自分のこと」の3つのまとまりに分けて構成している。(目次) 「対話」に重点を置き、教材・自分・友だちとの対話による学び方の明示や教材末の「考えよう・話し合おう」、活発な話し合いのヒントとなる「心を通わそう」「考える準備体操」のページなど、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫が多く取り入れられている。(3年p. 10, 32) 	<ul style="list-style-type: none"> 見開きの1枚絵など、迫力ある挿絵や自然に関する美しい写真を用いて児童の興味・関心を引く工夫がされている。(2年p. 118, 3年p. 38) 導入や終末でキャラクターの呼びかけにより、興味をもって学習できる工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> いじめ問題について扱う教材とコラムを合わせたユニットを設け、じっくりと考え、道徳的理解を深める配慮がされている。(6年p. 40-52) 「ふろく」のページには、日本に伝わる伝統文化などが紹介されており、地域のよさ、SDGsに結びつけて学習できる工夫がされている。また、3年の付録には、石州和紙が取り上げられている。(3年p. 175) 	<ul style="list-style-type: none"> 教材末の「つなげよう」では、他教科との関連を示し、発展的な学習や実生活に生かしやすい工夫がされている。 4年「わたしたちの校歌」では、自校の校歌を調べ、音楽など他教科と関連させながら愛校心を育む工夫がされている。(4年p. 88) 	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭の「道徳みちあんない」では、児童が楽しく1年間を見通せる工夫がされている。(2年p. 8) 巻末に学びの記録のページがあり、学期ごとに3つの視点について振り返り、1年～4年はシールを貼れるようになっており、自分の学びを振り返る工夫がされている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「対話」に重点を置き、対話による学び方の明示や「考えよう・話し合おう」「心を通わそう」「考える準備体操」のページなど、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫が多く取り入れられている。 1年間の学びを見通して、時期を考慮しながら「人とかかわり」「社会とかかわり」「自分のこと」の3つのまとまりに分けて構成している。

号	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心への配慮等	(4) 教科の特性, 島根県の実態や課題への適合等	(5) 各教科等及び実生活との関連についての工夫	(6) その他	総括
L	<p>・標準の35時間に加え, 3~4本の付録教材が掲載され, 児童の実態に合わせて指導できる工夫されている。</p>	<p>・教材のはじめに児童に考えてほしい発問, 登場人物の紹介, リード文があり, 児童の教材理解を促し, 見通しをもって学習に取り組む, 考えたり話し合ったりする時間確保につながる。</p>	<p>・「道徳の学び方」について, QRコードを読み取ると動画を視聴することができ, より捉えやすい工夫がされている。(3年p. 4)</p>	<p>現代的な課題である「いじめ」について, 直接的, 間接的, コラムをユニット化し, じっくりと考えられるよう工夫されている。また, 目次に「いじめをなくすために」と明記されており, 児童にとってもわかりやすい。(4年p. 90-99)</p>	<p>・全学年に「心のペンチ」のページを設け, 実生活や教科とのつながりを意識した内容について写真等を活用して分かりやすく示し, 自分自身の生活をふり返ったり, 見つけたりする工夫がある。</p> <p>・巻末の「見つけた! ここにも道徳」「SDGsで考えよう」のコーナーでは, 身の回りの生活の中にある道徳的価値に基づいたものに気づくヒントを示している。</p>	<p>・別冊で「道徳ノート」がついている。自分の考えはもちろん, 友達の考えや絵や図なども書き込むことが可能で考えが整理しやすい自由なレイアウトになっている。</p> <p>・ノートはQRコードを読み取ってタブレット入力することで指導者がデータ収集することができる。</p>	<p>・別冊で「道徳ノート」がついている。また, QRコードを読み取ってタブレット入力することで, 指導者がデータ収集することができる。</p> <p>・教材のはじめに児童に考えてほしい発問, 登場人物の紹介, リード文があり, 児童の教材理解を促し, 見通しをもって学習に取り組む, 考えたり話し合ったりする時間確保につながる。</p>
0	<p>・標準の35時間に加え, 5本の付録教材を掲載し, 児童の実態に合わせて教材を選択したり, 発展的な指導をしたりできるような工夫されている。</p> <p>・巻頭の「どうとくのかんはこんなじかんです」では, 問いを見つけ→考えを深める→ふりかえる→生活にひろげる, という学習の流れを紹介し, 児童が見通しをもって主体的に学習できるような工夫されている。</p>	<p>・全学年を通じて「いじめ」「いのち」を重点主題としているうえに, 発達段階に応じた学年独自主題を設け, 複数の時間をかけて深く考えることができるよう工夫されている。</p>	<p>・他の教科書会社も掲載している4年「雨のバス停留所」では, 漫画形式になっており, 児童がより興味をもって読み進め, 状況を捉えやすい工夫がされている。(4年p. 108)</p> <p>・児童がよく知っているアニメ「ちびまる子ちゃん」や「さかなクン」を取り上げ, 関心をもって読み進め, 考えられるよう工夫している。(3年p. 120, 2年p. 96)</p>	<p>・全学年に「へこんでも立ち直る」というレジリエンスコラムを設け, 心の力について考え, たくましく生きるための力を育む工夫がされている。(3年p. 69)</p>	<p>・各教材末の「ひろげよう」は, 学習したことを各教科や家庭・地域生活へ広げていく視点を示したり, 進んで学びを深める意欲付けの働きをしたりする効果がある。</p>	<p>・巻末の「学びの足あと」では, 低学年は顔の表情, 3年以上は心の矢印を用いて自分の学びを見つめられるように工夫がされている。</p>	<p>・標準の35時間に加え, 5本の付録教材を掲載し, 児童の実態に合わせて教材を選択したり, 発展的な指導をしたりできるような工夫されている。</p> <p>・全学年に「へこんでも立ち直る」というレジリエンスコラムを設け, 心の力について考え, たくましく生きるための力を育む工夫がされている。</p>
P G a k k e n	<p>・「いのち」を最重要テーマとし, 生命の尊さや自己の生き方について考えを深める工夫がされている。</p>	<p>・教材に主題名を明示せず, キーフレーズのみを提示することで, 児童が見出した問いをもとに学習できたり, 話し合いが広がったりするように配慮されている。</p> <p>・各教材の「考えよう」に示されている発問が2つにしばられており, 考えさせたい視点を明確にし, 多様な授業展開がしやすい構成となっている。</p>	<p>・先人を取り上げるだけでなく, 今活躍する人物も取り上げ, 児童の関心を高め, 自己の生き方に結び付けて考えられる工夫がされている。</p> <p>・児童の興味・関心を高めるデジタルコンテンツの充実を期待したい。</p>	<p>・4年「ないものはない」隠岐郡海士町を取り上げて, 島根県が進める教育の魅力化につながる学習ができる。(4年p. 76)</p> <p>・「いじめ」「情報モラル」「多様性」など現代的な課題をテーマにした教材を豊富に取り入れ, 児童が自分事として考えられる工夫がされている。</p>	<p>・「心のパスポート」のページでは, 他教科と関連する情報やおすすすめの本などを紹介し発展的な学びへのきっかけになる工夫がされている。</p>	<p>・巻頭の「つながる私・広がる私」と巻末の「つなげよう・広げよう」に一貫性があり, 一冊の教科書に流れがある。巻末は次年度につながる工夫もある。</p>	<p>・教材に主題名を明示せず, キーフレーズのみを提示することで, 児童が見出した問いをもとに学習できたり, 話し合いが広がったりするように配慮されている。</p> <p>・「いのち」を最重要テーマとし, 生命の尊さや自己の生き方について考えを深める工夫がされている。</p>